



Cisco Nexus 5000 シリーズ NX-OS ファブリック エクステンダ コマンド リファレンス

Cisco NX-OS Release 4.x、5.x

初版 : 2008 年 10 月
最終更新日 : 2011 年 12 月

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意
(www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)をご確認ください。

本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。
あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知られていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: www.cisco.com/go/trademarks. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Cisco Nexus 5000 シリーズ NX-OS ファブリック エクステンダ コマンド リファレンス
© 2008-2011 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

Copyright © 2008–2012, シスコシステムズ合同会社.
All rights reserved.



CONTENTS

はじめに	vii
対象読者	vii
サポートされるスイッチ	vii
Cisco Nexus 5000 プラットフォーム スイッチ	vii
Cisco Nexus 5500 プラットフォーム スイッチ	viii
マニュアルの構成	viii
表記法	ix
関連資料	x
リリース ノート	x
コンフィギュレーション ガイド	x
メンテナンスおよび操作ガイド	xi
インストラクション ガイドおよびアップグレード ガイド	xi
ライセンス ガイド	xi
コマンド リファレンス	xi
テクニカル リファレンス	xii
エラー メッセージおよびシステム メッセージ	xii
トラブルシューティング ガイド	xii
マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート	xii
新機能および変更された機能に関する情報	xiii
Cisco NX-OS リリースの新機能および変更された機能に関する情報	xiii
Cisco NX-OS Release 5.1(3)N1(1) の新機能および変更された機能に関する情報	xiii
Cisco NX-OS Release 5.0(3)N2(1) の新機能および変更された機能に関する情報	xiv
Cisco NX-OS Release 5.0(3)N1(1) の新機能および変更された機能に関する情報	xiv
Cisco NX-OS Release 5.0(2)N2(1) の新機能および変更された機能に関する情報	xiv
Cisco NX-OS Release 5.0(2)N1(1) の新機能および変更された機能に関する情報	xiv
Cisco NX-OS Release 4.2(1)N2(1) の新機能および変更された機能に関する情報	xv
Cisco NX-OS Release 4.2(1)N1(1) の新機能および変更された機能に関する情報	xv
Cisco NX-OS Release 4.1(3)N1(1) の新機能および変更された機能に関する情報	xvi
Cisco NX-OS Release 4.0(1a)N2(1) の新機能および変更された機能に関する情報	xvi
A コマンド	FEX-1
attach fex	FEX-2

D コマンド FEX-3

- description (fex) FEX-4
- diagnostic bootup level FEX-5

F コマンド FEX-7

- fcoe FEX-8
- feature fex FEX-10
- fex FEX-11
- fex associate FEX-13
- fex pinning redistribute FEX-15
- fex queue-limit FEX-17

H コマンド FEX-19

- hardware buffer-threshold FEX-20
- hardware queue-limit FEX-22
- hardware shared-buffer-size FEX-26
- hardware uplink-pause-no-drop FEX-28

L コマンド FEX-31

- locator-led fex FEX-32
- logging fex FEX-34

P コマンド FEX-35

- pinning max-links FEX-36
- provision FEX-38

S コマンド FEX-41

- serial FEX-42
- slot FEX-44
- switchport mode fex-fabric FEX-45

show コマンド FEX-47

- show diagnostic result fex FEX-48
- show environment fex FEX-50
- show fex FEX-52
- show fex detail FEX-54
- show fex transceiver FEX-57
- show fex version FEX-59
- show interface fex-fabric FEX-60

[show interface fex-intf](#) FEX-61
[show interface transceiver fex-fabric](#) FEX-62
[show inventory fex](#) FEX-64
[show locator-led](#) FEX-65
[show module fex](#) FEX-66
[show provision](#) FEX-68
[show queuing interface](#) FEX-69
[show running-config exclude-provision](#) FEX-72
[show running-config fex](#) FEX-74
[show sprom fex](#) FEX-76
[show startup-config exclude-provision](#) FEX-80
[show system reset-reason fex](#) FEX-81
[show version fex](#) FEX-83

T コマンド FEX-85

[type](#) FEX-86



はじめに

ここでは、『Cisco Nexus 5000 シリーズ NX-OS ファブリック エクステンダ コマンド リファレンス』の対象読者、構成、および表記法について説明します。また、関連マニュアルの入手方法についても説明します。

この前書きは、次の項で構成されています。

- 「対象読者」 (P.vii)
- 「サポートされるスイッチ」 (P.vii)
- 「マニュアルの構成」 (P.viii)
- 「表記法」 (P.ix)
- 「関連資料」 (P.x)
- 「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」 (P.xii)

対象読者

このマニュアルは、Cisco NX-OS デバイスを設定および管理する経験豊富なユーザの方を対象としています。

サポートされるスイッチ

ここでは、次の内容について説明します。

- 「Cisco Nexus 5000 プラットフォーム スイッチ」 (P.vii)
- 「Cisco Nexus 5500 プラットフォーム スイッチ」 (P.viii)

Cisco Nexus 5000 プラットフォーム スイッチ

表 1 に、Cisco Nexus 5000 プラットフォームでサポートされる Cisco スイッチを示します。



(注)

これらのスイッチの詳細については、次の URL にある『Cisco Nexus 5500 Platform and Cisco Nexus 5000 Platform Hardware Installation Guide』を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps9670/tsd_products_support_series_home.html

表 1 サポートされる Cisco Nexus 5000 プラットフォーム スイッチ

スイッチ	説明
Cisco Nexus 5010 スイッチ	Cisco Nexus 5010 は、1 Rack Unit (RU; ラック ユニット) スイッチです。このスイッチは、従来の環境、仮想化環境、統合環境、ハイパフォーマンス コンピューティング (HPC) 環境に対し、500 Gbps ワイヤ速度のスイッチング機能を提供します。
Cisco Nexus 5020 スイッチ	Cisco Nexus 5020 は、2 Rack Unit (RU; ラック ユニット) スイッチです。このスイッチは、従来の環境、仮想化環境、統合環境、HPC 環境に対し、1+ Tbps ワイヤ速度のスイッチング機能を提供します。



(注) Cisco Nexus 5000 プラットフォーム スイッチは、インターネット グループ管理プロトコル (IGMP) スヌーピングのみをサポートします。IGMP、Protocol Independent Multicast (PIM)、Multicast Source Discovery Protocol (MSDP) は、Cisco Nexus 5000 プラットフォーム スイッチではサポートされません。

Cisco Nexus 5500 プラットフォーム スイッチ

表 2 に、Cisco Nexus 5500 プラットフォームでサポートされる Cisco スイッチを示します。



(注) これらのスイッチの詳細については、次の URL にある『Cisco Nexus 5500 Platform and Cisco Nexus 5000 Platform Hardware Installation Guide』を参照してください。
http://www.cisco.com/en/US/products/ps9670/tsd_products_support_series_home.html

表 2 サポートされる Cisco Nexus 5500 プラットフォーム スイッチ

スイッチ	説明
Cisco Nexus 5548P スイッチ	Cisco Nexus 5548P スイッチは、Cisco Nexus 5500 プラットフォームの最初のスイッチです。このスイッチは、1 Rack-Unit (1 RU) の 10 ギガビット イーサネットおよび Fibre Channel over Ethernet (FCoE) スイッチであり、最大 960 Gbps スループットおよび最大 48 ポートを提供します。
Cisco Nexus 5596P スイッチ	Cisco Nexus 5596P スイッチは、Top-of-Rack の 10 ギガビット イーサネットおよび FCoE スイッチであり、最大 1920 ギガビット スループットおよび最大 96 ポートを提供します。

マニュアルの構成

このマニュアルの構成は、次のとおりです。

章タイトル	説明
「新機能および変更された機能に関する情報」	新しい Cisco NX-OS ソフトウェア リリースの新機能および変更された機能について説明します。
「A コマンド」	A で始まる Cisco NX-OS ファブリック エクステンダ コマンドについて説明します。
「D コマンド」	D で始まる Cisco NX-OS ファブリック エクステンダ コマンドについて説明します。
「F コマンド」	F で始まる Cisco NX-OS ファブリック エクステンダ コマンドについて説明します。
「H コマンド」	H で始まる Cisco NX-OS ファブリック エクステンダ コマンドについて説明します。
「L コマンド」	L で始まる Cisco NX-OS ファブリック エクステンダ コマンドについて説明します。
「P コマンド」	P で始まる Cisco NX-OS ファブリック エクステンダ コマンドについて説明します。
「S コマンド」	S で始まる Cisco NX-OS ファブリック エクステンダ コマンドについて説明します。
「show コマンド」	Cisco NX-OS ファブリック エクステンダの show コマンドについて説明します。
「T コマンド」	T で始まる Cisco NX-OS ファブリック エクステンダ コマンドについて説明します。

表記法

コマンドの説明では、次の表記法を使用しています。

表記法	説明
太字	コマンドおよびキーワードは太字で示しています。
イタリック体	ユーザが値を指定する引数は、イタリック体で示しています。
[]	角カッコの中の要素は、省略可能です。
{x y z}	必ずどれか 1 つを選択しなければならない必須キーワードは、波カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
[x y z]	どれか 1 つを選択できる省略可能なキーワードは、角カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
string	引用符を付けない一組の文字。string の前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めて string とみなされます。

出力例では、次の表記法を使用しています。

screen フォント	スイッチに表示される端末セッションおよび情報は、screen フォントで示しています。
太字の screen フォント	ユーザが入力しなければならない情報は、太字の screen フォントで示しています。

イタリック体の screen フォント	ユーザが値を指定する引数は、イタリック体の screen フォントで示しています。
< >	パスワードのように出力されない文字は、山カッコ (<>) で囲んで示しています。
[]	システム プロンプトに対するデフォルトの応答は、角カッコで囲んで示しています。
!、#	コードの先頭に感嘆符 (!) またはポンド記号 (#) がある場合には、コメント行であることを示します。

このマニュアルでは、次の表記法を使用しています。



(注)

「注釈」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。



注意

「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。

関連資料

Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチおよび Cisco Nexus 2000 シリーズ ファブリック エクステンダのマニュアルは、次の URL から入手できます。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps9670/tsd_products_support_series_home.html

次に、Cisco Nexus 5000 シリーズおよび Cisco Nexus 2000 シリーズ ファブリック エクステンダに関連するマニュアルを示します。

リリース ノート

『Cisco Nexus 5000 Series and Cisco Nexus 2000 Series Release Notes』

『Cisco Nexus 5000 Series Switch Release Notes』

コンフィギュレーション ガイド

『Cisco Nexus 5000 Series Configuration Limits for Cisco NX-OS Release 5.0(2)N1(1)』

『Cisco Nexus 5000 Series Configuration Limits for Cisco NX-OS Release 4.2(1)N1(1) and Release 4.2(1)N2(1)』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Fibre Channel over Ethernet Configuration Guide』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Layer 2 Switching Configuration Guide』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Multicast Routing Configuration Guide』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Quality of Service Configuration Guide』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS SAN Switching Configuration Guide』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Security Configuration Guide』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS System Management Configuration Guide』
『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Unicast Routing Configuration Guide』
『Cisco Nexus 5000 Series Switch NX-OS Software Configuration Guide』
『Cisco Nexus 5000 Series Fabric Manager Configuration Guide, Release 3.4(1a)』
『Cisco Nexus 7000 Series NX-OS Fundamentals Configuration Guide, Release 6.x』
『Cisco Nexus 2000 Series Fabric Extender Software Configuration Guide』

メンテナンスおよび操作ガイド

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Operations Guide』

インストールガイドおよびアップグレードガイド

『Cisco Nexus 5000 Series and Cisco Nexus 5500 Platform Hardware Installation Guide』
『Cisco Nexus 2000 Series Hardware Installation Guide』
『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Software Upgrade and Downgrade Guide, Release 4.2(1)NI(1)』
『Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco Nexus 5000 Series Switches and Cisco Nexus 2000 Series Fabric Extenders』

ライセンスガイド

『Cisco NX-OS Licensing Guide』

コマンドリファレンス

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS FabricPath Command Reference』
『Cisco Nexus 5000 シリーズ NX-OS ファブリック エクステンダ コマンドリファレンス』
『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Fibre Channel Command Reference』
『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Fundamentals Command Reference』
『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Layer 2 Interfaces Command Reference』
『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Multicast Routing Command Reference』
『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS QoS Command Reference』
『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Security Command Reference』
『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS System Management Command Reference』
『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS TrustSec Command Reference』
『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Unicast Routing Command Reference』
『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS vPC Command Reference』

テクニカル リファレンス

『Cisco Nexus 5000 Series and Cisco Nexus 2000 Series Fabric Extender MIBs Reference』

エラー メッセージおよびシステム メッセージ

『Cisco NX-OS System Messages Reference』

トラブルシューティング ガイド

『Cisco Nexus 5000 Troubleshooting Guide』

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。



新機能および変更された機能に関する情報

この章では、『Cisco Nexus 5000 シリーズ NX-OS ファブリック エクステンダ コマンド リファレンス』の新機能および変更された機能に関するリリース固有の情報を示します。このマニュアルの最新バージョンは、次のシスコ Web サイトから入手できます。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps9670/prod_command_reference_list.html

この Cisco NX-OS リリースに関する追加情報を確認するには、次のシスコ Web サイトから入手できる『Cisco Nexus 5000 Series Switch Release Notes』を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps9670/prod_release_notes_list.html

Cisco NX-OS リリースの新機能および変更された機能に関する情報

ここでは、次の内容について説明します。

- 「Cisco NX-OS Release 5.1(3)N1(1) の新機能および変更された機能に関する情報」 (P.xiii)
- 「Cisco NX-OS Release 5.0(3)N2(1) の新機能および変更された機能に関する情報」 (P.xiv)
- 「Cisco NX-OS Release 5.0(3)N1(1) の新機能および変更された機能に関する情報」 (P.xiv)
- 「Cisco NX-OS Release 5.0(2)N2(1) の新機能および変更された機能に関する情報」 (P.xiv)
- 「Cisco NX-OS Release 5.0(2)N1(1) の新機能および変更された機能に関する情報」 (P.xiv)
- 「Cisco NX-OS Release 4.2(1)N2(1) の新機能および変更された機能に関する情報」 (P.xv)
- 「Cisco NX-OS Release 4.2(1)N1(1) の新機能および変更された機能に関する情報」 (P.xv)
- 「Cisco NX-OS Release 4.1(3)N1(1) の新機能および変更された機能に関する情報」 (P.xvi)
- 「Cisco NX-OS Release 4.0(1a)N2(1) の新機能および変更された機能に関する情報」 (P.xvi)

Cisco NX-OS Release 5.1(3)N1(1) の新機能および変更された機能に関する情報

表 1 では、Cisco NX-OS Release 5.1(3)N1(1) の新機能および変更された機能を要約し、その参照先を示しています。

表 1 Release 5.1(3)N1(1) の新機能および変更された機能に関する情報

機能	説明	参照先
アダプタ ファブリック エクステンダ (Adapter-FEX) を介した FCoE	この機能が導入されました。 Adapter-FEX をサポートするように次のコマンドが更新されました。 <ul style="list-style-type: none"> • fcoe 	fcoe
ファブリック エクステンダ ハードウェアの機能拡張	Cisco Nexus N2248TP-E ファブリック エクステンダが導入されました。 次のコマンドが 2248TP-E ファブリック エクステンダで導入されました。 <ul style="list-style-type: none"> • hardware shared-buffer-size • hardware uplink-pause-no-drop 次のコマンドが更新されました。 <ul style="list-style-type: none"> • hardware queue-limit 	hardware queue-limit hardware shared-buffer-size hardware uplink-pause-no-drop

Cisco NX-OS Release 5.0(3)N2(1) の新機能および変更された機能に関する情報

Cisco NX-OS Release 5.0(3)N2(1) には、新機能および変更された機能はありません。

Cisco NX-OS Release 5.0(3)N1(1) の新機能および変更された機能に関する情報

Cisco NX-OS Release 5.0(3)N1(1) には、新機能および変更された機能はありません。

Cisco NX-OS Release 5.0(2)N2(1) の新機能および変更された機能に関する情報

Cisco NX-OS Release 5.0(2)N2(1) には、新機能および変更された機能はありません。

Cisco NX-OS Release 5.0(2)N1(1) の新機能および変更された機能に関する情報

表 2 では、Cisco NX-OS Release 5.0(2)N1(1) の新機能および変更された機能を要約し、その参照先を示しています。

表 2 Release 5.0(2)N1(1) の新機能および変更された機能に関する情報

機能	説明	参照先
ブートアップ診断レベル	スイッチに接続されているすべてのファブリック エクステンダの診断レベルを制御できます。	diagnostic bootup level
ファブリック エクステンダの事前プロビジョニングのサポート	Cisco Nexus 2000 シリーズ ファブリック エクステンダのシャーシ スロットのモジュールを事前プロビジョニングできます。	provision slot show provision show running-config exclude-provision show startup-config exclude-provision

Cisco NX-OS Release 4.2(1)N2(1) の新機能および変更された機能に関する情報

表 3 では、Cisco NX-OS Release 4.2(1)N2(1) の新機能および変更された機能を要約し、その参照先を示しています。

表 3 Release 4.2(1)N2(1) の新機能および変更された機能に関する情報

機能	説明	参照先
Cisco Nexus 2000 シリーズ ファブリック エクステンダの機能拡張	次のコマンドが更新されました。 <ul style="list-style-type: none"> • diagnostic bootup level 次のコマンドが導入されました。 <ul style="list-style-type: none"> • hardware buffer-threshold • hardware queue-limit 	diagnostic bootup level hardware buffer-threshold hardware queue-limit

Cisco NX-OS Release 4.2(1)N1(1) の新機能および変更された機能に関する情報

表 4 では、Cisco NX-OS Release 4.2(1)N1(1) の新機能および変更された機能を要約し、その参照先を示しています。

表 4 Release 4.2(1)N1(1) の新機能および変更された機能に関する情報

機能	説明	参照先
Cisco Nexus 2000 シリーズ ファブリック エクステンダの機能拡張	次のコマンドが導入されました。 <ul style="list-style-type: none"> • fex queue-limit • type 次のコマンドが更新されました。 <ul style="list-style-type: none"> • pinning max-links 	fex queue-limit pinning max-links type 「 show コマンド 」

Cisco NX-OS Release 4.1(3)N1(1) の新機能および変更された機能に関する情報

表 5 では、Cisco NX-OS Release 4.1(3)N1(1) の新機能および変更された機能を要約し、その参照先を示しています。

表 5 Release 4.1(3)N1(1) の新機能および変更された機能に関する情報

機能	説明	参照先
Cisco Nexus 2000 シリーズ ファブリック エクステンダの 機能拡張	beacon コマンドは非推奨になり、 locator-led コマンドに置き換えられました。 次のコマンドが導入されました。 • show queuing interface	locator-led fex show queuing interface

Cisco NX-OS Release 4.0(1a)N2(1) の新機能および変更された機能に関する情報

表 6 では、Cisco NX-OS Release 4.0(1a)N2(1) の新機能および変更された機能を要約し、その参照先を示しています。

表 6 Release 4.0(1a)N2(1) の新機能および変更された機能に関する情報

機能	説明	参照先
Cisco Nexus 2000 シリーズ ファブリック エクステンダ	この機能は、Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチから Cisco Nexus 2000 シリーズ ファブリック エクステンダを管理するために導入されました。	attach fex beacon description (fex) feature fex fex fex associate fex pinning redistribute logging fex pinning max-links serial switchport mode fex-fabric 「show コマンド」



A コマンド

この章では、Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチから Cisco Nexus 2000 シリーズ ファブリック エクステンダを管理するために使用する、A で始まる Cisco NX-OS コマンドについて説明します。

attach fex

接続されたファブリック エクステンダの Command Line Interface (CLI; コマンドライン インターフェイス) にアクセスして診断コマンドを実行するには、**attach fex** コマンドを使用します。

attach fex chassis_ID

構文の説明	<i>chassis_ID</i>	ファブリック エクステンダ シャーシ ID。シャーシ ID の範囲は 100 ~ 199 です。
-------	-------------------	--

コマンドデフォルト	なし
-----------	----

コマンドモード	EXEC モード
---------	----------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1a)N2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン 接続されたファブリック エクステンダの CLI にアクセスして診断コマンドを実行するには、**attach fex** コマンドを使用します。このコマンドは、シスコのテクニカル サポート スタッフの指示がある場合の使用に限ることを推奨します。

例 次に、接続されたファブリック エクステンダの CLI にアクセスして診断コマンドを実行する例を示します。

```
switch# attach fex 101
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show fex	スイッチに接続されている、すべての設定済みのファブリック エクステンダ シャーシを表示します。



D コマンド

この章では、Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチから Cisco Nexus 2000 シリーズ ファブリック エクステンダを管理するために使用する、D で始まる Cisco NX-OS コマンドについて説明します。

description (fex)

ファブリック エクステンダの説明を指定するには、**description** コマンドを使用します。デフォルトの説明に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

description *description*

no description

構文の説明

<i>description</i>	ファブリック エクステンダの説明。デフォルトは、文字列 FEXxxxx で、xxxx はシャーシ ID です。たとえば、シャーシ ID が 123 の場合、デフォルトの説明は FEX0123 です。最大 20 文字までの英数字が指定可能です。
--------------------	---

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

ファブリック エクステンダ コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1a)N2(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、ファブリック エクステンダに説明を指定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# fex 101
switch(config-fex)# description Rack16_FEX101
```

次に、デフォルトのファブリック エクステンダの説明に戻す例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# fex 101
switch(config-fex)# no description
```

関連コマンド

コマンド	説明
fex	ファブリック エクステンダを作成し、ファブリック エクステンダ コンフィギュレーション モードを開始します。
show fex	スイッチに接続されている、すべての設定済みのファブリック エクステンダ シャーシを表示します。

diagnostic bootup level

デバイスの起動時に診断がトリガーされるようにブートアップ診断レベルを設定するには、**diagnostic bootup level** コマンドを使用します。ブートアップ診断レベル設定を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

diagnostic bootup level {bypass | complete}

no diagnostic bootup level {bypass | complete}

構文の説明

bypass	すべてのブートアップ テストをスキップするように指定します。
complete	すべてのブートアップ診断を実行するように指定します。これがデフォルト値です。

コマンド デフォルト

complete

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1)	このコマンドが追加されました。
4.2(1)N2(1)	スイッチに接続されたすべてのファブリック エクステンダの診断レベルを制御するためにサポートが追加されました。

例

次に、完全な診断を実行するようブートアップ診断レベルを設定する例を示します。

```
switch(config)# diagnostic bootup level complete
switch(config)#
```

次に、ブートアップ診断レベル設定を削除する例を示します。

```
switch(config)# no diagnostic bootup level complete
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show diagnostic bootup level	起動時診断レベルを表示します。
show diagnostic bootup result	診断テストの結果を表示します。

■ diagnostic bootup level



F コマンド

この章では、Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチから Cisco Nexus 2000 Series Fabric Extender を管理するために使用する、F で始まる Cisco NX-OS コマンドについて説明します。

fcoe

Fibre Channel over Ethernet (FCoE) Initialization Protocol (FIP) および FCoE トラフィックのピン接続用にスイッチに Cisco Nexus 2000 Series Fabric Extender (FEX) を関連付けるには、**fcoe** コマンドを使用します。関連付けを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

fcoe [*vsan vsan-id*]

no fcoe [*vsan*]

構文の説明

vsan vsan-id VSAN のステータスを指定します。VSAN ID の範囲は 1 ~ 4094 です。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

FEX コンフィギュレーション モード
VLAN コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用する前に、**feature fex** コマンドを使用してスイッチの ファブリック エクステンダ (FEX) 機能がイネーブルになっていることを確認してください。

このコマンドは、Cisco Nexus 2232P ファブリック エクステンダでのみ使用できます。FCoE トラフィックをイネーブルにするために仮想ファイバ チャンネル インターフェイスにインターフェイスをバインドする場合は、スロット番号 1 を使用する必要があります。指定できるポート番号の範囲は 1 ~ 32 です。

次に、イネーブルな FCoE として FEX を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# feature fex
switch(config)# fex 100
switch(config-fex)# fcoe
switch(config-fex)#
```

次に、ファブリックの仮想ポート チャンネル (vPC) トポロジの FCoE トラフィックを伝送するために FEX のペアを設定する例を示します。FEX のホスト アップリンク ポートは同じポートチャンネルに設定されています。

```
switch# configure terminal
switch(config)# feature lacp
switch(config)# feature fex
switch(config)# feature fcoe
switch(config)# fex 100
switch(config-fex)# fcoe
switch(config-fex)# exit
```



```
switch(config)# interface vfc 1
switch(config-if)# bind interface eth101/1/1
switch(config)# interface eth101/1/1
switch(config-if)# channel-group 1
switch(config)# fex 102
switch(config-fex)# fcoe
switch(config)# interface vfc 1
switch(config-if)# bind interface eth102/1/1
switch(config)# interface eth102/1/1
switch(config-if)# channel-group 1
switch(config-if)#
```

次に、VLAN 上で FCoE トラフィックを設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# vlan 5
switch(config-vlan)# fcoe vsan 1
switch(config-vlan)#
```

次に、FEX で FCoE トラフィックをディセーブルにする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# fex 100
switch(config-fex)# no fcoe
switch(config-fex)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature fcoe	スイッチの FCoE 機能をイネーブルにします。
feature fex	スイッチの FEX 機能をイネーブルにします。
feature lacp	Link Aggregation Control Protocol (LACP) をイネーブルにします。
show fex	特定の FEX に関する情報を表示します。

feature fex

スイッチでファブリック エクステンダ (FEX) 機能をイネーブルにするには、**feature fex** コマンドを使用します。FEX をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

feature fex

no feature fex

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1a)N2(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、スイッチで FEX 機能をイネーブルにする例を示します。

```
switch(config)# feature fex
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fex	ファブリック エクステンダを作成し、ファブリック エクステンダ コンフィギュレーション モードを開始します。
show feature	スイッチでイネーブルまたはディセーブルである機能を表示します。

fex

を作成し、ファブリック エクステンダ コンフィギュレーション モードを開始するには、**fex** コマンドを使用します。ファブリック エクステンダ ファブリック エクステンダ コンフィギュレーションを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

fex chassis_ID

no fex chassis_ID

構文の説明	<i>chassis_ID</i>	ファブリック エクステンダ シャーシ ID。シャーシ ID の範囲は 100 ~ 199 です。
--------------	-------------------	--

コマンド デフォルト	なし
-------------------	----

コマンド モード	グローバル コンフィギュレーション モード
-----------------	-----------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1a)N2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン	ファブリック エクステンダは、親スイッチ上のインターフェイスに接続して関連付ける前に、作成および設定できます。ファブリック エクステンダをスイッチに関連付けると、作成した設定がファブリック エクステンダに転送され、適用されます。
-------------------	--

例	次に、ファブリック エクステンダ コンフィギュレーション モードを開始する例を示します。
----------	--

```
switch# configure terminal
switch(config)# fex 101
switch(config-fex)#
```

次に、ファブリック エクステンダ設定を削除する例を示します。

```
switch(config-fex)# no fex 101
switch(config)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	beacon	ファブリック エクステンダのロケータ ビーコン LED を点灯します。
	description (fex)	ファブリック エクステンダの説明を指定します。
	fex associate	ファブリック エクステンダをイーサネットまたは EtherChannel インターフェイスに関連付けます。
	pinning max-links	ファブリック エクステンダに接続された、静的にピン接続されたアップリンクの数を指定します。

コマンド	説明
serial	ファブリック エクステンダにシリアル番号を割り当てます。
show fex	スイッチに接続されている、すべての設定済みのファブリック エクステンダ シャーシを表示します。
type	ファブリック エクステンダ カードを指定します。

fex associate

ファブリック エクステンダ をファブリック インターフェイスに関連付けるには、**fex associate** コマンドを使用します。ファブリック エクステンダ の関連付けを解除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

fex associate *chassis_ID*

no fex associate [*chassis_ID*]

構文の説明

chassis_ID ファブリック エクステンダ シャーシ ID。シャーシ ID の範囲は 100 ~ 199 です。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1a)N2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

親スイッチ上のインターフェイスをファブリック エクステンダに関連付ける前に、まず **switchport mode fex-fabric** コマンドを入力してインターフェイスをファブリック インターフェイスにする必要があります。



(注)

Cisco NX-OS Release 4.2(1)N1(1) で動作している Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチでは、**switchport mode fex-fabric** コマンドはイーサネット インターフェイス上ではサポートされていません。

例

次に、ファブリック エクステンダ をイーサネット インターフェイスに関連付ける例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface ethernet 1/40
switch(config-if)# switchport mode fex-fabric
switch(config-if)# fex associate 101
```

次に、ファブリック エクステンダ をスイッチの EtherChannel インターフェイスに関連付ける例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface port-channel 4
switch(config-if)# switchport mode fex-fabric
switch(config-if)# fex associate 101
```

関連コマンド

コマンド	説明
show fex	スイッチに接続されている、すべての設定済みのファブリック エクステンダ シャーシを表示します。
switchport mode fex-fabric	インターフェイスをアップリンク ポートに設定します。

fex pinning redistribute

ファブリック エクステンダでホスト インターフェイスを再配信するには、**fex pinning redistribute** コマンドを使用します。

fex pinning redistribute chassis_ID

構文の説明	chassis_ID	ファブリック エクステンダ シャーシ ID。シャーシ ID の範囲は 100 ~ 199 です。
-------	------------	--

コマンド デフォルト	なし
------------	----

コマンド モード	EXEC モード
----------	----------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1a)N2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン 静的ピン接続モードを使用してファブリック エクステンダをプロビジョニングすると (『Cisco Nexus 2000 Series Fabric Extender Software Configuration Guide』を参照)、ファブリック エクステンダ上のホスト インターフェイスはそれらが最初に設定されたときの順序でファブリック インターフェイスにピン接続されます。ファブリック エクステンダを次回リブートすると、設定されたファブリック インターフェイスは、ファブリック インターフェイスのポート番号の昇順でホスト インターフェイスにピン接続されます。

初期設定の後、ファブリック エクステンダを再起動せずに同じ固定配信でホスト インターフェイスを設定するには、**fex pinning redistribute** コマンドを使用します。

**注意**

このコマンドにより、ファブリック エクステンダのすべてのホスト インターフェイス ポートが中断されます。ただし、中断はファブリック エクステンダをリブートした場合よりは短くなります。

例 次に、ファブリック エクステンダでホスト インターフェイスを再配布する例を示します。

```
switch# fex pinning redistribute 101
switch#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	pinning max-links	ファブリック エクステンダ上のアップリンクの数を定義します。

コマンド	説明
show fex	スイッチに接続されている、すべての設定済みのファブリック エクステンダ シャーシを表示します。
show interface fex-intf	特定のスイッチ インターフェイスにピン接続されているファブリック エクステンダのポートを表示します。

fex queue-limit

各ファブリック エクステンダ ポートに割り当てられている入力バッファ領域の合計を（バイト単位で）制限するには、**fex queue-limit** コマンドを使用します。ドロップしきい値をディセーブルにし、ファブリック エクステンダ ポートがすべての使用可能なバッファ領域を使用できるようにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

fex queue-limit

no fex queue-limit

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

ファブリック エクステンダ キュー制限はデフォルトの設定で使用可能であり、オンに設定されています。

コマンド モード

システム QoS コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

デフォルトでは、ドロップしきい値が各ファブリック エクステンダ ポートに適用されており、各ポートに割り当てられるバッファの合計を制限します。各ファブリック エクステンダ ポートのデフォルトのキュー制限を復元するには、**fex queue-limit** コマンドを使用します。

例

次に、各ファブリック エクステンダ ポートの入力バッファにキュー制限を設定する例を示します。

```
switch(config)# system qos
switch(config-sys-qos)# fex queue-limit
switch(config-sys-qos)#
```

次に、各ファブリック エクステンダ ポートのデフォルトのキュー制限を復元する例を示します。

```
switch(config)# system qos
switch(config-sys-qos)# no fex queue-limit
switch(config-sys-qos)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show fex	スイッチに接続されている、すべての設定済みファブリック エクステンダ シャーシを表示します。



H コマンド

この章では、Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチから Cisco Nexus 2000 シリーズ ファブリック エクステンダを管理するために使用する、H で始まる Cisco NX-OS コマンドについて説明します。

hardware buffer-threshold

各ファブリック エクステンダの入力ハードウェア バッファ使用量の合計を制限するには、**hardware buffer-threshold** コマンドを使用します。デフォルトに戻して、ファブリック エクステンダがすべての使用可能なハードウェア バッファ領域を使用できるようにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

hardware *fex_card_typ* **buffer-threshold** *buffer-limit*

no hardware *fex_card_typ* **buffer-threshold**

構文の説明

<i>fex_card_type</i>	ファブリック エクステンダのカード タイプ。次のファブリック エクステンダ カード タイプがサポートされています。 <ul style="list-style-type: none"> N2148T : ファブリック エクステンダ 48x1G 4x10G SFP+ モジュール このファブリック エクステンダの説明については、「使用上のガイドライン」の項を参照してください。
<i>buffer-limit</i>	バッファしきい値の制限（バイト単位）です。有効な範囲は 81920 ～ 316160 です。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

ファブリック エクステンダ コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)N2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン



(注)

このコマンドは、Cisco Nexus 2148T ファブリック エクステンダでのみサポートされます。

Cisco Nexus 2148T ファブリック エクステンダは、親の Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチへのアップリンク接続用に、4 個の 10 ギガビット イーサネット ファブリック インターフェイスを備え、サーバまたはホストへのダウンリンク接続用に、48 個の 1000BASE-T (1 ギガビット) イーサネット ホスト インターフェイスを備えています。

buffer-threshold キーワードは、出力キューにテール ドロップしきい値の観測を開始するように指示が送信される前に、入力バッファの消費レベルを設定します。バッファ使用量が設定されたバッファしきい値よりも低い場合、テール ドロップしきい値は無視されます。

例

次に、Cisco Nexus 2148T ファブリック エクステンダ上で、ハードウェア バッファしきい値の制限を設定する例を示します。

```
switch(config)# fex 110
```

```
switch(config-fex)# hardware N2148T buffer-threshold 163840
switch(config-fex)#
```

次に、Cisco Nexus 2148T ファブリック エクステンダ上に設定した、ハードウェア バッファしきい値の制限を削除する例を示します。

```
switch(config)# fex 110
switch(config-fex)# no hardware N2148T buffer-threshold
switch(config-fex)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fex	ファブリック エクステンダを作成し、ファブリック エクステンダ コンフィギュレーションモードを開始します。
show fex	スイッチに接続されている、すべての設定済みファブリック エクステンダ シャーシを表示します。
show queuing interface	バッファしきい値およびキュー制限を含めたインターフェイス キューイング パラメータに関する情報を表示します。
show running-config fex	ファブリック エクステンダの実行コンフィギュレーションを表示します。

hardware queue-limit

ファブリック エクステンダ上で、出力キュー テール ドロップしきい値レベルを制御するには、**hardware queue-limit** コマンドを使用します。ドロップしきい値をディセーブルにして、ファブリック エクステンダがすべての使用可能なハードウェア バッファ領域を使用できるようにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

hardware fex_card_type queue-limit [queue-limit] [rx | tx]

no hardware fex_card_type queue-limit [rx | tx]

構文の説明

<i>fex_card_type</i>	<p>ファブリック エクステンダのカード タイプ。次のファブリック エクステンダ カード タイプがサポートされています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • N2148T : ファブリック エクステンダ 48x1G 4x10G SFP+ モジュール • N2224TP : ファブリック エクステンダ 24x1G 2x10G SFP+ モジュール • N2232P : ファブリック エクステンダ 32x10G SFP+ 8x10G SFP+ モジュール • N2232TM : ファブリック エクステンダ 32x10GBase-T 8x10G SFP+ モジュール • N2248T : ファブリック エクステンダ 48x1G 4x10G SFP+ モジュール • N2248TP-E : ファブリック エクステンダ 48x1G 4x10G SFP+ モジュール <p>これらのファブリック エクステンダの説明については、「使用上のガイドライン」の項を参照してください。</p>
<i>queue-limit</i>	<p>(任意) キュー制限 (バイト単位) です。範囲は、Cisco Nexus 2148T ファブリック エクステンダの場合は 81920 ~ 652800、Cisco Nexus 2248TP-E ファブリック エクステンダの場合は 32768 ~ 33538048、その他のすべてのサポートされるファブリック エクステンダの場合は 5120 ~ 652800 です。</p>
rx	<p>(任意) 受信 (入力) 用のデフォルト キュー制限を指定します。</p> <p>(注) このキーワードは、Cisco Nexus 2248TP-E ファブリック エクステンダ上でのみサポートされます。</p>
tx	<p>(任意) 送信 (出力) 用のデフォルト キュー制限を指定します。</p> <p>(注) このキーワードは、Cisco Nexus 2248TP-E ファブリック エクステンダ上でのみサポートされます。</p>

コマンド デフォルト

Cisco Nexus 2248TP-E ファブリック エクステンダの **rx** (入力) のデフォルトのキュー制限は 1MB です。

Cisco Nexus 2248TP-E ファブリック エクステンダの **tx** (出力) のデフォルトのキュー制限は 4MB です。

コマンド モード

ファブリック エクステンダ コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)N2(1)	このコマンドが追加されました。
5.1(3)N1(1)	<p>Cisco Nexus 2248TP-E ファブリック エクステンダが導入されました。 rx および tx キーワードがこのファブリック エクステンダに導入されました。</p> <p>すべての Cisco Nexus 2000 シリーズ ファブリック エクステンダのキュー制限が 5120 ~ 652800 バイトに変更されました。ただし、Cisco Nexus 2148T ファブリック エクステンダおよび Cisco Nexus 2248TP-E ファブリック エクステンダを除きます。</p> <p>(注) 5.1(3)N1(1) よりも前の Cisco NX-OS リリースを実行する Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチでは、キュー制限の範囲は 2560 ~ 652800 バイトでした。</p>

使用上のガイドライン

ファブリック エクステンダでは、1 つのブロックされたレシーバのトラフィックが他の輻輳していないレシーバに送信されないようにする（行頭ブロッキング）ために、低いキュー制限値を使用できます。ただし、これにより入力トラフィックでバースト吸収が増加します。より高いキュー制限値では、バースト吸収が改善され、行頭ブロッキング保護が少なくなります。

サポートされる Cisco Nexus 2000 シリーズ ファブリック エクステンダ

Cisco NX-OS Release 4.2(1)N2(1) で動作している Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチでは、次の Cisco Nexus 2000 シリーズ ファブリック エクステンダがサポートされています。

- Cisco Nexus 2148T ファブリック エクステンダ：親の Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチへのアップリンク接続用に、4 個の 10 ギガビット イーサネット ファブリック インターフェイスを備え、サーバまたはホストへのダウンリンク接続用に、48 個の 1000BASE-T（1 ギガビット）イーサネット ホスト インターフェイスを備えています。
- Cisco Nexus N2224TP ファブリック エクステンダ：親の Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチへのアップリンク接続用に、Small Form-Factor Pluggable（SFP+）インターフェイス アダプタ付きの 2 個の 10 ギガビット イーサネット ファブリック インターフェイスを備え、サーバまたはホストへのダウンリンク接続用に、24 個の 1000BASE-T（1 ギガビット）イーサネット ホスト インターフェイスを備えています。また、Fibre Channel over Ethernet（FCoE）は、サポートしません。
- Cisco Nexus 2232P ファブリック エクステンダ：親の Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチへのアップリンク接続用に、Small Form-Factor Pluggable（SFP+）インターフェイス アダプタ付きの 8 個の 10 ギガビット イーサネット ファブリック インターフェイスを備え、サーバまたはホストへのダウンリンク接続用に、SFP+ インターフェイス アダプタ付きの 32 個の 10 ギガビット イーサネット ファブリック インターフェイスを備えています。
- Cisco Nexus 2248T ファブリック エクステンダ：親の Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチへのアップリンク接続用に、SFP+ インターフェイス アダプタ付きの 4 個の 10 ギガビット イーサネット ファブリック インターフェイスを備え、サーバまたはホストへのダウンリンク接続用に、48 個の 1000BASE-T（1 ギガビット）イーサネット ホスト インターフェイスを備えています。

Cisco NX-OS Release 5.0(3)N2(1) を実行する Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチでは、次の Cisco Nexus 2000 シリーズ ファブリック エクステンダ がサポートされています。

- Cisco Nexus 2148T ファブリック エクステンダ：親の Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチへのアップリンク接続用に、4 個の 10 ギガビット イーサネット ファブリック インターフェイスを備え、サーバまたはホストへのダウンリンク接続用に、48 個の 1000BASE-T（1 ギガビット）イーサネット ホスト インターフェイスを備えています。

- Cisco Nexus N2224TP ファブリック エクステンダ：親の Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチへのアップリンク接続用に、Small Form-Factor Pluggable (SFP+) インターフェイス アダプタ付きの 2 個の 10 ギガビット イーサネット ファブリック インターフェイスを備え、サーバまたはホストへのダウンリンク接続用に、24 個の 1000BASE-T (1 ギガビット) イーサネット ホスト インターフェイスを備えています。また、Fibre Channel over Ethernet (FCoE) は、サポートしません。
- Cisco Nexus 2232P ファブリック エクステンダ：親の Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチへのアップリンク接続用に、Small Form-Factor Pluggable (SFP+) インターフェイス アダプタ付きの 8 個の 10 ギガビット イーサネット ファブリック インターフェイスを備え、サーバまたはホストへのダウンリンク接続用に、SFP+ インターフェイス アダプタ付きの 32 個の 10 ギガビット イーサネット ファブリック インターフェイスを備えています。
- Cisco Nexus 2232TM ファブリック エクステンダ：親の Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチへのアップリンク接続用に小型フォーム ファクタ (SFP+) インターフェイス アダプタ付きの 8 個の 10 ギガビット イーサネット ファブリック インターフェイスを備え、サーバまたはホストへのダウンリンク接続用に 32 個の 10 ギガビット BASE-T イーサネット ファブリック インターフェイスを備えています。
- Cisco Nexus 2248T ファブリック エクステンダ：親の Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチへのアップリンク接続用に、SFP+ インターフェイス アダプタ付きの 4 個の 10 ギガビット イーサネット ファブリック インターフェイスを備え、サーバまたはホストへのダウンリンク接続用に、48 個の 1000BASE-T (1 ギガビット) イーサネット ホスト インターフェイスを備えています。

Cisco NX-OS Release 5.1(3)N1(1) を実行する Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチでは、次の Cisco Nexus 2000 シリーズ ファブリック エクステンダがサポートされています。

- Cisco Nexus N2248TP-E ファブリック エクステンダ：親の Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチへのアップリンク接続用に 4 個の 10 ギガビット イーサネット ファブリック インターフェイスがあり、サーバまたはホストへのダウンリンク接続用に小型フォーム ファクタ (SFP+) インターフェイス アダプタ付きの 48 個の 1000BASE-T (1 ギガビット) イーサネット ホスト インターフェイスがあります。

例

次に、Cisco Nexus 2248T ファブリック エクステンダ上で、ハードウェア バッファ キュー制限を設定する例を示します。

```
switch(config)# fex 110
switch(config-fex)# hardware N2248T queue-limit 327680
switch(config-fex)#
```

次に、Cisco Nexus 2248T ファブリック エクステンダ上に設定した、ハードウェア バッファ キュー制限を削除する例を示します。

```
switch(config)# fex 110
switch(config-fex)# no hardware N2248T queue-limit
switch(config-fex)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fex	ファブリック エクステンダを作成し、ファブリック エクステンダ コンフィギュレーション モードを開始します。
show fex	スイッチに接続されている、すべての設定済みファブリック エクステンダ シャーシを表示します。

コマンド	説明
show queuing interface	バッファしきい値およびキュー制限を含めたインターフェイス キューイング パラメータに関する情報を表示します。
show running-config fex	ファブリック エクステンダの実行コンフィギュレーションを表示します。

hardware shared-buffer-size

Cisco Nexus 2000 シリーズ ファブリック エクステンダの共有バッファ サイズを設定するには、**hardware shared-buffer-size** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
hardware fex_card_type shared-buffer-size [buffer-size]
```

```
no hardware fex_card_type shared-buffer-size [buffer-size]
```

構文の説明

<i>fex_card_type</i>	ファブリック エクステンダのカード タイプ。次のファブリック エクステンダ カード タイプがサポートされています。 <ul style="list-style-type: none"> N2248TP-E : ファブリック エクステンダ 48x1G 4x10G SFP+ モジュール このファブリック エクステンダの説明については、「 使用上のガイドライン 」の項を参照してください。
<i>buffer-size</i>	(任意) 共有バッファ サイズ (KB)。範囲は 10800KB ~ 25392KB です。

コマンド デフォルト

共有バッファのデフォルト サイズは 25392KB です。

コマンド モード

ファブリック エクステンダ コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)NI(1)	このコマンドが追加されました。
	Cisco Nexus N2248TP-E ファブリック エクステンダが導入されました。

使用上のガイドライン



(注) このコマンドは、Cisco Nexus 2248TP-E ファブリック エクステンダだけでサポートされます。

Cisco Nexus N2248TP-E ファブリック エクステンダには、親の Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチ へのアップリンク接続用に 4 個の 10 ギガビット イーサネット ファブリック インターフェイスがあり、サーバまたはホストへのダウンリンク接続用に小型フォーム ファクタ (SFP+) インターフェイスアダプタ付きの 48 個の 1000BASE-T (1 ギガビット) イーサネット ホスト インターフェイスがあります。

使用可能な合計バッファは、両方向 (入力、出力) で共有される 32MB です。

共有バッファのデフォルト サイズは 25392KB です。ただし、イーサネットベースの **pause no-drop** クラスを設定する場合は、共有バッファ サイズは 10800KB に変更されます。この変更は、**pause no-drop** クラスをサポートする専用バッファを大きくするために必要です。**pause no-drop** クラスは共有プールからバッファ スペースを使用しません。

例 次に、Cisco Nexus 2248TP-E ファブリック エクステンダのハードウェア バッファのサイズを設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# fex 100
switch(config-fex)# hardware N2248TTP-E shared-buffer-size 25000
switch(config-fex)#
```

次に、Cisco Nexus 2248TTP-E ファブリック エクステンダとスイッチの間で hardware pause no-drop 設定を削除する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# fex 100
switch(config-fex)# no hardware N2248TTP-E shared-buffer-size 25000
switch(config-fex)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fex	ファブリック エクステンダを作成し、ファブリック エクステンダ コンフィギュレーション モードを開始します。
show fex	スイッチに接続されている、すべての設定済みのファブリック エクステンダ シャーシを表示します。
show running-config fex	ファブリック エクステンダの実行コンフィギュレーションを表示します。

hardware uplink-pause-no-drop

Cisco Nexus 2000 シリーズ ファブリック エクステンダと Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチの間の 3000 m の距離まで `pause no-drop` クラスを設定するには、**hardware uplink-pause-no-drop** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
hardware fex_card_type uplink-pause-no-drop distance [distance-value]
```

```
no hardware fex_card_type uplink-pause-no-drop distance [distance-value]
```

構文の説明

<i>fex_card_type</i>	ファブリック エクステンダのカード タイプ。次のファブリック エクステンダ カード タイプがサポートされています。 <ul style="list-style-type: none"> N2248TP-E : ファブリック エクステンダ 48x1G 4x10G SFP+ モジュール このファブリック エクステンダの説明については、「使用上のガイドライン」の項を参照してください。
distance	ファブリック エクステンダとスイッチ間の距離を指定します。
<i>distance-value</i>	(任意) 距離 (m 単位)。指定できる範囲は 300 ~ 3000 です。

コマンド デフォルト

ファブリック エクステンダとスイッチ間のデフォルトの距離は 300 m です。

コマンド モード

ファブリック エクステンダ コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。 Cisco Nexus N2248TP-E ファブリック エクステンダが導入されました。

使用上のガイドライン



(注)

このコマンドは、Cisco Nexus 2248TP-E ファブリック エクステンダだけでサポートされます。

Cisco Nexus N2248TP-E ファブリック エクステンダには、親の Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチへのアップリンク接続用に 4 個の 10 ギガビット イーサネット ファブリック インターフェイスがあり、サーバまたはホストへのダウンリンク接続用に小型フォーム ファクタ (SFP+) インターフェイスアダプタ付きの 48 個の 1000BASE-T (1 ギガビット) イーサネット ホスト インターフェイスがあります。

例

次に、Cisco Nexus 2248TTP-E ファブリック エクステンダとスイッチ間で 3000 m の距離まで `hardware pause no-drop` クラスを設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# fex 100
switch(config-fex)# hardware N2248TTP-E pause-no-drop distance 3000
```

```
switch(config-fex)#
```

次に、Cisco Nexus 2248TTP-E ファブリック エクステンダ とスイッチの間で hardware pause no-drop 設定を削除する例を示します。

```
switch# configure terminal  
switch(config)# fex 100  
switch(config-fex)# no hardware N2248TTP-E pause-no-drop distance 3000  
switch(config-fex)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fex	ファブリック エクステンダを作成し、ファブリック エクステンダ コンフィギュレーションモードを開始します。
show fex	スイッチに接続されている、すべての設定済みのファブリック エクステンダ シャーシを表示します。
show running-config fex	ファブリック エクステンダの実行コンフィギュレーションを表示します。

■ hardware uplink-pause-no-drop



L コマンド

この章では、Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチから Cisco Nexus 2000 シリーズ ファブリック エクステンダを管理するために使用する、L で始まる Cisco NX-OS コマンドについて説明します。

locator-led fex

ファブリック エクステンダのロケータ LED を点灯するには、**locator-led** コマンドを使用します。ロケータ LED を消灯するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

locator-led fex chassis_ID

no locator-led fex chassis_ID

構文の説明

chassis_ID ファブリック エクステンダ シャーシ ID。有効な範囲は 100 ~ 199 です。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。
	(注) 4.1(3)N1(1) よりも前のリリースの Cisco NX-OS を実行している Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチでは、ロケータ ビーコン LED は beacon コマンドにより切り替えられていました。

使用上のガイドライン

locator-led コマンドを使用してファブリック エクステンダのロケータ LED を点灯/消灯すると、入り組んだデータセンター内でマシンを簡単に識別できるようになります。

locator-led コマンドは、Cisco NX-OS Release 4.1(3)N1(1) 以降のリリースで非推奨になった、次のコマンドに替わるコマンドです。

- **[no] beacon**

例

次に、特定のファブリック エクステンダ シャーシでロケータ LED を点灯する例を示します。

```
switch# locator-led fex 100
switch#
```

次に、特定のファブリック エクステンダ シャーシでロケータ LED を消灯する例を示します。

```
switch# no locator-led fex 100
switch#
```


関連コマンド

コマンド	説明
show fex	スイッチに接続されている、すべての設定済みファブリック エクステンダ シャーシを表示します。
show locator-led	ファブリック エクステンダ モジュールのロケータ LED のステータスを表示します。

logging fex

ファブリック エクステンダ イベントにロギング アラート レベルを設定するには、**logging fex** コマンドを使用します。ロギング レベルをリセットするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

logging fex [*severity-level*]

no logging fex [*severity-level*]

構文の説明

severity-level (任意) 作成するメッセージ ログの重大度です。指定されたレベルまたは指定されたレベルよりも小さい数値のメッセージがログに記録されます。重大度は次のとおりです。

- 0: 緊急事態。システムは使用不能です。
- 1: アラート。早急なアクションが必要です。
- 2: クリティカル。クリティカルな状態です。デフォルトはこのレベルです。
- 3: エラー。エラー状態です。
- 4: 警告。警告状態です。
- 5: 通知。正常だが注意が必要な状態です。
- 6: 情報。情報目的のメッセージだけです。
- 7: デバッグ。デバッグ実行時にだけ表示されます。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1a)N2(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、ファブリック エクステンダ イベントに対してロギング アラート レベルを設定する例を示します。

```
switch(config)# logging fex 4
```

次に、ロギング レベルをリセットする例を示します。

```
switch(config)# no logging fex
```

関連コマンド

コマンド	説明
show fex	スイッチに接続されている、すべての設定済みのファブリック エクステンダ シャーシを表示します。



P コマンド

この章では、Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチから Cisco Nexus 2000 シリーズ ファブリック エクステンダを管理するために使用する、P で始まる Cisco NX-OS コマンドについて説明します。

pinning max-links

静的にピン接続されたアップリンクの数を指定するには、**pinning max-links** コマンドを使用します。デフォルト設定にリセットするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

pinning max-links uplinks

no pinning max-links

構文の説明

<i>uplinks</i>	アップリンクの数。指定できる範囲は 1 ~ 8 です。デフォルトは 1 です。 このコマンドは、ファブリック エクステンダが 1 つ以上の静的にピン接続されたファブリック インターフェイスを使用して親スイッチに接続されている場合だけ、適用できます。
----------------	---

コマンドデフォルト

アップリンクのデフォルト数は 1 です。

コマンドモード

ファブリック エクステンダ コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1a)N2(1)	このコマンドが追加されました。
4.2(1)N1(1)	アップリンク数が 8 に拡張されました。
	(注) Cisco NX-OS Release 4.2(1)N1(1) よりも前のリリースでは、アップリンクの最大数は 4 でした。

使用上のガイドライン

いくつかのピン接続ファブリック インターフェイス接続を作成し、親スイッチがホスト インターフェイスの配信を決定できるようにするために、**pinning max-links** コマンドを使用します。ホスト インターフェイスは *uplinks* で指定した数で分割され、それに従って配信されます。



注意

uplinks の値を変更すると、中断が発生します。ファブリック エクステンダ上のすべてのホスト インターフェイスはダウンし、親スイッチが静的ピン接続を再割り当てすると再びアップします

例

次に、ファブリック エクステンダの静的にピン接続されたアップリンクの数を指定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# fex 101
switch(config-fex)# pinning max-links 4
```

次に、ファブリック エクステンダのアップリンク数をデフォルトに戻す例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# fex 101
switch(config-fex)# no pinning max-links
```

関連コマンド

コマンド	説明
fex	ファブリック エクステンダを作成し、ファブリック エクステンダ コンフィギュレーション モードを開始します。
fex pinning redistribute	ファブリック エクステンダ上のホスト インターフェイスを再配信します。
show fex	スイッチに接続されている、すべての設定済みのファブリック エクステンダ シャーシを表示します。

provision

シャーシ スロットでモジュールを事前プロビジョニングするには、**provision** コマンドを使用します。事前プロビジョニングしたモジュールをスロットから削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

provision model model-name

no provision model [model-name]

構文の説明

model	プロビジョニングするモジュールのタイプを指定します。
<i>model-name</i>	モジュール名。サポートされるモジュールは、次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • N2K-C2148T : Cisco Nexus 2000 シリーズ ファブリック エクステンダ 48x1G 4x10G モジュール • N2K-C2232P : Cisco Nexus 2000 シリーズ ファブリック エクステンダ 32x10G モジュール • N2K-C2232TM : Cisco Nexus 2000 シリーズ ファブリック エクステンダ 32x10G モジュール • N2K-C2248T : Cisco Nexus 2000 シリーズ ファブリック エクステンダ 48x1G 4x10G モジュール • N2K-N2224TP : Cisco Nexus 2000 シリーズ ファブリック エクステンダ 24x1G 2x10G SFP+ モジュール • N55-M16FP : Cisco 16 ポート ポート ファイバ チャンネル拡張モジュール 16 x SFP • N55-M16P : Cisco 16x10 ギガビット イーサネット拡張モジュール • N55-M16UP : Cisco 16x10 ギガビット フレキシブル イーサネット拡張モジュール • N55-M8P8FP : Cisco 8 ポート 1/2/4/8 ギガビット ファイバ チャンネル + 8 ポート 10 ギガビット イーサネット拡張モジュール • N5K-M1008 : Cisco 8 ポート ファイバ チャンネル拡張モジュール 8 x SFP • N5K-M1060 : Cisco 6 ポート ファイバ チャンネル拡張モジュール 6 x SFP • N5K-M1404 : 拡張モジュール 4 x 10GBase-T LAN、4 x ファイバ チャンネル • N5K-M1600 : Cisco 6 ポート 10 ギガビット イーサネット SFP モジュール 6 x SFP

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

スロット コンフィギュレーション モード
 スイッチ プロファイル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、事前プロビジョニングするモジュール（ラインカードまたは Cisco Nexus 2000 シリーズ ファブリック エクステンダ）を定義するために使用します。カードタイプがスロットのカードと一致しない場合またはモジュールがシャーシと互換性がない場合、次のメッセージが表示されます。

```
ERROR: The card type does not match the card in slot
```

または

```
ERROR: This module cannot be configured for this chassis
```

モジュールをスイッチのシャーシに挿入する前にモジュールの機能またはインターフェイス（イーサネット、ファイバチャネル）を設定できます。また、このコマンドを使用して、障害またはスケジューリングのダウンタイムが原因でモジュールがオフラインの場合にこれらの機能またはインターフェイスの設定を管理できます。これらの設定は、モジュールがオンラインになったときに適用されます。

モジュールのタイプを指定してモジュールを事前プロビジョニングすると、プラットフォーム マネージャは、一致するタイプのモジュールだけをオンラインにすることを許可します。モジュールタイプを指定せずにモジュールのインターフェイスを設定すると、設定はモジュールがオンラインになったときにモジュールタイプにかかわらず適用されます。

スイッチ プロファイルのモジュールおよびインターフェイスを事前プロビジョニングできます。モジュールとインターフェイスは、スイッチ プロファイルを適用（コミット）したときに事前プロビジョニングされます。モジュールを挿入してインターフェイスを作成したら、事前プロビジョニングモジュールは、インターフェイスが起動する前に各アプリケーションに設定を渡します。

相互排他とは、スイッチ プロファイルに含まれない設定はスイッチ プロファイルで許可されないメカニズム（およびその逆の場合も同様）です。この要件は、スイッチ プロファイルの設定を両方のスイッチでまったく同じにするためのものです。事前プロビジョニングされた設定は、モジュールがオンラインのときの設定と同じなので、相互排他チェックは正常に適用され続けます。

事前プロビジョニングをサポートする Cisco NX-OS Release 5.0(2)N1(1) から、モジュールの事前プロビジョニングをサポートしていない Cisco NX-OS の以前のリリースにダウングレードすると、スイッチに設定した事前プロビジョニング設定を削除するように求められます。

例

次に、シャーシのスロット 2 でモジュールを事前プロビジョニングする例を示します。

```
switch(config)# slot 2
switch(config-slot)# provision model N5K-M1404
switch(config-slot)#
```

次に、シャーシ スロットから事前プロビジョニングしたモジュールを削除する例を示します。

```
switch(config)# slot 2
switch(config-slot)# no provision model N5K-M1404
switch(config-slot)#
```

次に、シャーシ スロットから事前プロビジョニングしたすべてのモジュールまたはラインカードを削除する例を示します。

```
switch(config)# slot 2
switch(config-slot)# no provision model
switch(config-slot)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show module	モジュール情報を表示します。
show provision	事前プロビジョニングしたモジュールを表示します。
show switch-profile	スイッチ プロファイル情報を表示します。
show running-config exclude-provision	事前プロビジョニングされた機能を除く実行コンフィギュレーションを表示します。
slot	モジュールを事前プロビジョニングするためにスロットをイネーブルにします。
switch-profile	スイッチ プロファイルを設定します。



S コマンド

この章では、Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチから Cisco Nexus 2000 シリーズ ファブリック エクステンダを管理するために使用する、S で始まる Cisco NX-OS コマンドについて説明します。

serial

ファブリック エクステンダにシリアル番号を割り当てるには、**serial** コマンドを使用します。シリアル番号を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

serial *serial_string*

no serial

構文の説明

serial_string ファブリック エクステンダのシリアル番号文字列。文字列は英数字で指定します。大文字と小文字が区別され、最大文字数は 20 です。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

ファブリック エクステンダ コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1a)N2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

serial コマンドを使用して定義したシリアル番号文字列は、ファブリック エクステンダのシリアル番号と一致している必要があります。シリアル番号を設定した後、**fex associate** コマンドを使用してスイッチに対応するシャーシ ID を関連付けした場合、関連付けが成功するのはファブリック エクステンダによりシリアル番号文字列の一致がレポートされた場合だけです。



注意

使用するファブリック エクステンダのシリアル番号とは異なるシリアル番号を設定すると、ファブリック エクステンダは強制的にオフラインになります。

例

次に、ファブリック エクステンダにシリアル番号を指定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# fex 101
switch(config-fex)# serial Rack16_FEX101
```

次に、ファブリック エクステンダからシリアル番号を削除する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# fex 101
switch(config-fex)# no serial
```

関連コマンド

コマンド	説明
fex	ファブリック エクステンダを作成し、ファブリック エクステンダ コンフィギュレーション モードを開始します。
fex associate	ファブリック エクステンダをイーサネットまたは EtherChannel インターフェイスに関連付けます。
show fex	スイッチに接続されている、すべての設定済みのファブリック エクステンダ シャーシを表示します。

slot

シャーシのスロットの事前プロビジョニングをイネーブルにするには、**slot** コマンドを使用します。スロットの事前プロビジョニングをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

slot slot-number

no slot slot-number

構文の説明

slot-number シャーシのスロット番号。有効な範囲は 2 ～ 199 です。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード
コンフィギュレーション同期モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、シャーシのスロットでモジュールの機能またはインターフェイスの事前プロビジョニングをイネーブルにするために使用します。事前プロビジョニングにより、モジュールをスイッチのシャーシに挿入する前に、モジュールの機能またはインターフェイス（イーサネット、ファイバチャネル）を設定できます。

例

次に、シャーシのスロットでモジュールの事前プロビジョニングをイネーブルにする例を示します。

```
switch(config)# slot 2
switch(config-slot)#
```

次に、シャーシのスロットでモジュールの事前プロビジョニングをディセーブルにする例を示します。

```
switch(config)# no slot 2
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
port	ポートをイーサネット、ネイティブ ファイバチャネル、または Fibre Channel over Ethernet (FCoE) ポートとして設定します。
provision	スロット内のモジュールの事前プロビジョニングを行います。
show running-config exclude-provision	事前プロビジョニングされた機能を除く実行コンフィギュレーションを表示します。

switchport mode fex-fabric

ファブリック エクステンダのアップリンク ポートになるインターフェイス タイプを設定するには、**switchport mode fex-fabric** コマンドを使用します。

switchport mode fex-fabric

no switchport mode fex-fabric

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1a)N2(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、ファブリック エクステンダのアップリンク ポートになるようにイーサネット インターフェイスを設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface ethernet 1/40
switch(config-if)# switchport mode fex-fabric
```

次に、ファブリック エクステンダのアップリンク ポートになるように EtherChannel インターフェイスを設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface port-channel 4
switch(config-if)# switchport mode fex-fabric
```

関連コマンド

コマンド	説明
fex associate	ファブリック エクステンダをイーサネットまたは EtherChannel インターフェイスに関連付けます。
show fex	スイッチに接続されている、すべての設定済みのファブリック エクステンダ シャーシを表示します。

■ switchport mode fex-fabric



show コマンド

この章では、Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチから Cisco Nexus 2000 シリーズ ファブリック エクステンダを管理するために使用する、Cisco NX-OS の **show** コマンドについて説明します。

show diagnostic result fex

ファブリック エクステンダ シャーシの診断テストの結果を表示するには、**show diagnostic result fex** コマンドを使用します。

show diagnostic result fex chassis_ID

構文の説明	<i>chassis_ID</i>	ファブリック エクステンダ シャーシ ID。シャーシ ID の範囲は 100 ~ 199 です。
-------	-------------------	--

コマンドデフォルト なし

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1a)N2(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、ファブリック エクステンダの診断テストの結果を表示する例を示します。

```
switch# show diagnostic result fex 100
FEX-100: 48x1GE/Supervisor SerialNo   : JAF1237ABSE
Overall Diagnostic Result for FEX-100  : OK

Test results: (. = Pass, F = Fail, U = Untested)
TestPlatform:
0)          SPROM: -----> .
1)          MV88E6095: -----> .
2)          Fan: -----> .
3)          Power Supply: -----> .
4) Temperature Sensor: -----> .

TestForwardingPorts:
Eth   1  2  3  4  5  6  7  8  9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
Port -----
. . . . .

Eth   25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48
Port -----
. . . . .

TestFabricPorts:
Fabric 1  2  3  4
Port -----
. . . .

switch#
```


関連コマンド

コマンド	説明
show fex	スイッチに接続されている、すべての設定済みのファブリック エクステンダ シャーシを表示します。

show environment fex

環境センサーのステータスを表示するには、**show environment fex** コマンドを使用します。

show environment fex {all | chassis_ID} [temperature | power | fan]

構文の説明

all	すべてのファブリック エクステンダ シャーシの情報を表示します。
<i>chassis_ID</i>	ファブリック エクステンダ シャーシ ID。シャーシ ID の範囲は 100 ~ 199 です。
temperature	(任意) 温度センサーの情報を表示します。
power	(任意) 電力容量および電力分散の情報を表示します。
fan	(任意) ファンの情報を表示します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1a)N2(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、ファブリック エクステンダの環境センサーのステータスを表示する例を示します。

```
switch# show environment fex 100
```

```
Temperature Fex 100:
```

Module	Sensor	MajorThresh (Celsius)	MinorThres (Celsius)	CurTemp (Celsius)	Status
1	Outlet-1	85	75	50	ok
1	Inlet-1	100	90	37	ok

```
Fan Fex: 100:
```

Fan	Model	Hw	Status
Chassis	N2K-C2148-FAN	--	ok
PS-1	N5K-PAC-200W	--	ok
PS-2	--	--	absent

```
Power Supply Fex 100:
```

```
Voltage: 12 Volts
```

PS	Model	Power (Watts)	Power (Amp)	Status

```

1  N5K-PAC-200W          0.00    0.00    ok
2  --                    --      --      --

```

Mod	Model	Power Requested (Watts)	Power Requested (Amp)	Power Allocated (Watts)	Power Allocated (Amp)	Status
1	N5K-C5110T-BF-1GE	24.00	2.00	24.00	2.00	powered-up

Power Usage Summary:

Power Supply redundancy mode:

redundant

Total Power Capacity

0.00 W

Power reserved for Supervisor(s)

24.00 W

Power currently used by Modules

0.00 W

Total Power Available

-24.00 W

switch#

関連コマンド

コマンド	説明
show fex	スイッチに接続されている、すべての設定済みのファブリック エクステンダ シャーシを表示します。

show fex

特定のファブリック エクステンダまたは接続されているすべてのシャーシに関する情報を表示するには、**show fex** コマンドを使用します。

show fex [*chassis_ID* [**detail**]]

構文の説明	<i>chassis_ID</i>	(任意) ファブリック エクステンダ シャーシ ID。シャーシ ID の範囲は 100 ~ 199 です。
	detail	(任意) 詳細なリストを表示します。

コマンドデフォルト なし

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1a)N2(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、接続されているすべてのファブリック エクステンダ シャーシに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show fex
FEX          FEX          FEX          FEX
Number      Description   State         Model         Serial
-----
100          FEX0100      Online        N5K-C5110T-BF-1GE  JAF1237ABSE
101          FEX0101      Online        N2K-C2248TP-1GE   JAF11223333
102          FEX0102      Online        N5K-C5110T-BF-1GE  JAF1241BLHQ
105          FEX0105      Online        N2K-C2232P-10GE   JAF1331AKBM
switch#
```

次の例では、特定のファブリック エクステンダ シャーシに関する情報のサマリーを表示する方法を示します。

```
switch# show fex 101
FEX: 101 Description: FEX0101  state: Online
  FEX version: 4.2(1)N1(1) [Switch version: 4.2(1)N1(1)]
  Extender Model: N2K-C2248TP-1GE,  Extender Serial: JAF11223333
  Part No: 73-12748-01
pinning-mode: static  Max-links: 1
Fabric port for control traffic: Eth3/5
Fabric interface state:
  Po5 - Interface Up. State: Active
  Eth3/5 - Interface Up. State: Active
  Eth3/6 - Interface Up. State: Active
switch#
```

次に、接続されているすべてのファブリック エクステンダ シャーシの詳細情報を表示する例を示します。

```

switch# show fex detail
FEX: 100 Description: FEX0100 state: Online
FEX version: 4.2(1)N1(1) [Switch version: 4.2(1)N1(1)]
FEX Interim version: 4.2(1)N1(0.309)
Switch Interim version: 4.2(1)N1(0.309)
Extender Model: N5K-C5110T-BF-1GE, Extender Serial: JAF1237ABSE
Part No: 73-12009-02
Card Id: 70, Mac Addr: 00:0d:ec:b1:13:02, Num Macs: 64
Module Sw Gen: 12594 [Switch Sw Gen: 21]
post level: complete
pinning-mode: static Max-links: 1
Fabric port for control traffic: Eth3/3
Fabric interface state:
  Po12 - Interface Up. State: Active
  Eth3/3 - Interface Up. State: Active
  Eth3/4 - Interface Up. State: Active
Fex Port      State Fabric Port Primary Fabric
Eth100/1/1    Up      Po12      Po12
Eth100/1/2    Up      Po12      Po12
Eth100/1/3    Up      Po12      Po12
Eth100/1/4    Up      Po12      Po12
Eth100/1/5    Up      Po12      Po12
Eth100/1/6    Up      Po12      Po12
Eth100/1/7    Up      Po12      Po12
Eth100/1/8    Up      Po12      Po12
Eth100/1/9    Up      Po12      Po12
Eth100/1/10   Up      Po12      Po12
Eth100/1/11   Up      Po12      Po12
Eth100/1/12   Up      Po12      Po12
Eth100/1/13   Up      Po12      Po12
Eth100/1/14   Up      Po12      Po12
Eth100/1/15   Up      Po12      Po12
Eth100/1/16   Up      Po12      Po12
Eth100/1/17   Up      Po12      Po12
Eth100/1/18   Up      Po12      Po12
Eth100/1/19   Up      Po12      Po12
Eth100/1/20   Up      Po12      Po12
Eth100/1/21   Up      Po12      Po12
Eth100/1/22   Up      Po12      Po12
Eth100/1/23   Up      Po12      Po12
--More--
switch#

```

関連コマンド

コマンド	説明
fex	ファブリック エクステンダを作成し、ファブリック エクステンダ コンフィギュレーション モードを開始します。

show fex detail

特定のファブリック エクステンダまたは接続されているすべてのシャーシの詳細情報を表示するには、**show fex detail** コマンドを使用します。

show fex detail

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、接続されているすべてのファブリック エクステンダ シャーシの詳細情報を表示する例を示します。

```
switch# show fex detail
FEX: 100 Description: FEX0100 state: Online
  FEX version: 4.2(1)N1(1) [Switch version: 4.2(1)N1(1)]
  FEX Interim version: 4.2(1)N1(0.326)
  Switch Interim version: 4.2(1)N1(0.326)
  Extender Model: N5K-C5110T-BF-1GE, Extender Serial: JAF1237ABSE
  Part No: 73-12009-02
  Card Id: 70, Mac Addr: 00:0d:ec:b1:13:02, Num Macs: 64
  Module Sw Gen: 12594 [Switch Sw Gen: 21]
  post level: complete
  pinning-mode: static Max-links: 1
  Fabric port for control traffic: Eth3/4
  Fabric interface state:
    Po12 - Interface Up. State: Active
    Eth3/3 - Interface Up. State: Active
    Eth3/4 - Interface Up. State: Active
  Fex Port      State Fabric Port Primary Fabric
    Eth100/1/1  Up    Po12      Po12
    Eth100/1/2  Up    Po12      Po12
    Eth100/1/3  Up    Po12      Po12
    Eth100/1/4  Up    Po12      Po12
    Eth100/1/5  Up    Po12      Po12
    Eth100/1/6  Up    Po12      Po12
    Eth100/1/7  Up    Po12      Po12
    Eth100/1/8  Up    Po12      Po12
    Eth100/1/9  Up    Po12      Po12
    Eth100/1/10 Up    Po12      Po12
    Eth100/1/11 Up    Po12      Po12
    Eth100/1/12 Up    Po12      Po12
    Eth100/1/13 Up    Po12      Po12
    Eth100/1/14 Up    Po12      Po12
```

Eth100/1/15	Up	Po12	Po12
Eth100/1/16	Up	Po12	Po12
Eth100/1/17	Up	Po12	Po12
Eth100/1/18	Up	Po12	Po12
Eth100/1/19	Up	Po12	Po12
Eth100/1/20	Up	Po12	Po12
Eth100/1/21	Up	Po12	Po12
Eth100/1/22	Up	Po12	Po12
Eth100/1/23	Up	Po12	Po12
Eth100/1/24	Up	Po12	Po12
Eth100/1/25	Up	Po12	Po12
Eth100/1/26	Up	Po12	Po12
Eth100/1/27	Up	Po12	Po12
Eth100/1/28	Up	Po12	Po12
Eth100/1/29	Up	Po12	Po12
Eth100/1/30	Up	Po12	Po12
Eth100/1/31	Up	Po12	Po12
Eth100/1/32	Up	Po12	Po12
Eth100/1/33	Down	Po12	Po12
Eth100/1/34	Down	Po12	Po12
Eth100/1/35	Down	Po12	Po12
Eth100/1/36	Down	Po12	Po12
Eth100/1/37	Down	Po12	Po12
Eth100/1/38	Down	Po12	Po12
Eth100/1/39	Down	Po12	Po12
Eth100/1/40	Up	Po12	Po12
Eth100/1/41	Up	Po12	Po12
Eth100/1/42	Up	Po12	Po12
Eth100/1/43	Up	Po12	Po12
Eth100/1/44	Up	Po12	Po12
Eth100/1/45	Up	Po12	Po12
Eth100/1/46	Up	Po12	Po12
Eth100/1/47	Up	Po12	Po12
Eth100/1/48	Up	Po12	Po12

Logs:

```
04/16/2010 05:05:23.441707: Module register received
04/16/2010 05:05:23.442886: Registration response sent
04/16/2010 05:05:23.551846: Module Online Sequence
04/16/2010 05:05:56.520856: Module Online
04/16/2010 05:29:38.526605: Deleting route to FEX
04/16/2010 05:29:38.536055: Module disconnected
04/16/2010 05:29:38.537686: Offlining Module
04/16/2010 05:29:38.538260: Module Offline Sequence
04/16/2010 05:29:53.646254: Module Offline
04/16/2010 05:29:54.178401: Deleting route to FEX
04/16/2010 05:29:54.184092: Module disconnected
04/16/2010 05:29:54.186230: Offlining Module
04/16/2010 05:31:13.784346: Module register received
04/16/2010 05:31:13.785410: Registration response sent
04/16/2010 05:31:15.676906: Module Online Sequence
04/16/2010 05:31:50.492714: Module Online
04/16/2010 05:32:18.388033: Deleting route to FEX
04/16/2010 05:32:18.393579: Module disconnected
04/16/2010 05:32:18.394845: Offlining Module
04/16/2010 05:32:18.395412: Module Offline Sequence
04/16/2010 05:32:30.336790: Module Offline
04/16/2010 05:32:30.683558: Deleting route to FEX
04/16/2010 05:32:30.690042: Module disconnected
04/16/2010 05:32:30.692101: Offlining Module
04/16/2010 05:33:42.781911: Module register received
04/16/2010 05:33:42.783432: Registration response sent
04/16/2010 05:33:52.542824: Module Online Sequence
04/16/2010 05:34:33.483417: Module Online
<---output truncated---
```

```
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fex	ファブリック エクステンダを作成し、ファブリック エクステンダ コンフィギュレーション モードを開始します。
show fex	スイッチに接続されている、すべての設定済みファブリック エクステンダ シャーシを表示します。

show fex transceiver

ファブリック エクステンダを Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチに接続しているトランシーバに関する情報を表示するには、**show fex transceiver** コマンドを使用します。

show fex chassis_ID transceiver [calibration | detail]

構文の説明	<i>chassis_ID</i>	ファブリック エクステンダ シャーシ ID。シャーシ ID の範囲は 100 ~ 199 です。
	calibration	(任意) トランシーバに関する詳細な較正情報を表示します。
	detail	(任意) トランシーバに関する詳細な診断情報を表示します。

コマンド デフォルト なし

コマンド モード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1a)N2(1)	このコマンドが追加されました。

例 次に、ファブリック エクステンダを Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチに接続しているトランシーバに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show fex 101 transceiver
```

```
Fex Uplink: 1
Fabric Port: Ethernet3/5
  sfp is present
  name is CISCO-AVAGO
  part number is SFBR-7700SDZ
  revision is B4
  serial number is AGD113921ZR
  nominal bitrate is 10300 Mbits/sec
  Link length supported for 50/125mm fiber is 82 m(s)
  Link length supported for 62.5/125mm fiber is 26 m(s)
  cisco id is --
  cisco extended id number is 4
```

```
Fex Uplink: 2
Fabric Port: Ethernet3/6
  sfp is present
  name is CISCO-AVAGO
  part number is SFBR-7700SDZ
  revision is B4
  serial number is AGD113422LS
  nominal bitrate is 10300 Mbits/sec
  Link length supported for 50/125mm fiber is 82 m(s)
  Link length supported for 62.5/125mm fiber is 26 m(s)
  cisco id is --
```

show fex transceiver

```
cisco extended id number is 4

Fex Uplink: 3
Fabric Port: --
  sfp is present
  name is CISCO-AVAGO
  part number is SFBR-7700SDZ
  revision is B4
  serial number is AGD11392258
  nominal bitrate is 10300 Mbits/sec
  Link length supported for 50/125mm fiber is 82 m(s)
  Link length supported for 62.5/125mm fiber is 26 m(s)
--More--
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fex	ファブリック エクステンダを作成し、ファブリック エクステンダ コンフィギュレーション モードを開始します。

show fex version

のバージョン情報を表示するには、**show fex version** コマンドを使用します。ファブリック エクステンダ

show fex chassis_ID version

構文の説明	<i>chassis_ID</i>	ファブリック エクステンダ シャーシ ID。シャーシ ID の範囲は 100 ~ 199 です。
-------	-------------------	--

コマンド デフォルト	なし
------------	----

コマンド モード	EXEC モード
----------	----------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1a)N2(1)	このコマンドが追加されました。

例 次に、ファブリック エクステンダのバージョン情報を表示する例を示します。

```
switch# show fex 101 version
Software
  Bootloader version:          0.2
  System boot mode:           primary
  System image version:       4.2(1)N1(1) [build 4.2(1)N1(0.309)]

Hardware
  Module:                     Fabric Extender 48x1GE + 4x10G Module
  CPU:                         Motorola, e300c4
  Serial number:               JAF11223333
  Bootflash:                   locked

Kernel uptime is 0 day(s), 3 hour(s), 53 minutes(s), 43 second(s)

Last reset at Wed Mar 31 06:28:41 2010
  Reason: Kernel Reboot
  Service: Reload new image
switch#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	fex	ファブリック エクステンダを作成し、ファブリック エクステンダ コンフィギュレーション モードを開始します。

show interface fex-fabric

すべてのファブリック エクステンダのファブリック インターフェイスを表示するには、**show interface fex-fabric** コマンドを使用します。

show interface fex-fabric

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1a)N2(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、すべてのファブリック エクステンダのファブリック インターフェイスを表示する例を示します。

```
switch# show interface fex-fabric
Fabric      Fabric      Fex          FEX
Fex  Port      Port State   Uplink      Model        Serial
-----
105   Eth1/5      Active      5           N2K-C2232P-10GE  JAF1331AKBM
105   Eth1/6      Active      6           N2K-C2232P-10GE  JAF1331AKBM
105   Eth1/7      Active      8           N2K-C2232P-10GE  JAF1331AKBM
105   Eth1/8      Active      7           N2K-C2232P-10GE  JAF1331AKBM
102   Eth1/17     Active      1           N5K-C5110T-BF-1GE  JAF1241BLHQ
102   Eth1/18     Configured  0
102   Eth1/19     Active      3           N5K-C5110T-BF-1GE  JAF1241BLHQ
102   Eth1/20     Active      4           N5K-C5110T-BF-1GE  JAF1241BLHQ
100   Eth3/3      Active      1           N5K-C5110T-BF-1GE  JAF1237ABSE
100   Eth3/4      Active      2           N5K-C5110T-BF-1GE  JAF1237ABSE
101   Eth3/5      Active      1           N2K-C2248TP-1GE    JAF11223333
101   Eth3/6      Active      2           N2K-C2248TP-1GE    JAF11223333
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show fex	スイッチに接続されている、すべての設定済みのファブリック エクステンダ シャーシを表示します。

show interface fex-intf

ファブリック インターフェイスにピン接続されているホスト インターフェイスを表示するには、**show interface fex-intf** コマンドを使用します。

show interface *interface* fex-intf

構文の説明

interface イーサネットまたは EtherChannel インターフェイス。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1a)N2(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、親スイッチ上でイーサネット ファブリック インターフェイスにピン接続されているホスト インターフェイスを表示する例を示します。

```
switch# show interface ethernet 1/1 fex-intf
```

次に、親スイッチ上で EtherChannel ファブリック インターフェイスにピン接続されているホスト インターフェイスを表示する例を示します。

```
switch# show interface port-channel 1 fex-intf
```

関連コマンド

コマンド	説明
show fex	スイッチに接続されている、すべての設定済みのファブリック エクステンダ シャーシを表示します。

show interface transceiver fex-fabric

ファブリック インターフェイスに接続されているすべてのトランシーバに関する情報を表示するには、**show interface transceiver fex-fabric** コマンドを使用します。

show interface transceiver fex-fabric [calibration | detail]

構文の説明

calibration	(任意) トランシーバに関する詳細な較正情報を表示します。
detail	(任意) トランシーバに関する詳細な診断情報を表示します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1a)N2(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、ファブリック インターフェイスに接続されているすべてのトランシーバに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show interface transceiver fex-fabric
Ethernet1/5
  sfp is present
  name is CISCO-MOLEX INC
  part number is 74752-9025
  revision is A
  serial number is MOC12302468
  nominal bitrate is 12000 Mbits/sec
  Link length supported for 50/125mm fiber is 0 m(s)
  Link length supported for 62.5/125mm fiber is 0 m(s)
  cisco id is --
  cisco extended id number is 4

Ethernet1/6
  sfp is present
  name is CISCO-MOLEX INC
  part number is 74752-9025
  revision is A
  serial number is MOC12260214
  nominal bitrate is 12000 Mbits/sec
  Link length supported for 50/125mm fiber is 0 m(s)
  Link length supported for 62.5/125mm fiber is 0 m(s)
  cisco id is --
  cisco extended id number is 4

Ethernet1/7
  sfp is present
  name is CISCO-MOLEX INC
  part number is 74752-9025
  revision is A
```

```
serial number is MOC12301888
nominal bitrate is 12000 Mbits/sec
Link length supported for 50/125mm fiber is 0 m(s)
Link length supported for 62.5/125mm fiber is 0 m(s)
cisco id is --
cisco extended id number is 4

Ethernet1/8
  sfp is present
  name is CISCO-MOLEX INC
--More--
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show fex	スイッチに接続されている、すべての設定済みのファブリック エクステンダ シャーシを表示します。

show inventory fex

名前、説明、およびボリューム ID などの、ファブリック エクステンダの物理インベントリを表示するには、**show inventory fex** コマンドを使用します。

show inventory fex chassis_ID

構文の説明	<i>chassis_ID</i>	ファブリック エクステンダ シャーシ ID。シャーシ ID の範囲は 100 ~ 199 です。
-------	-------------------	--

コマンドデフォルト なし

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.2(1)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、特定のファブリック エクステンダ シャーシの物理インベントリを表示する例を示します。

```
switch# show inventory fex 100
NAME: "FEX 100 CHASSIS", DESCR: "N5K-C5110T-BF-1GE CHASSIS"
PID: N5K-C5110T-BF-1GE , VID: V01 , SN: JAF1237ABSE

NAME: "FEX 100 Module 1", DESCR: "Fabric Extender Module: 48x1GE, 4X10GE Supervisor"
PID: N5K-C5110T-BF-1GE , VID: V00 , SN: JAF1237ABSE

NAME: "FEX 100 Fan 1", DESCR: "Fabric Extender Fan module"
PID: N2K-C2148-FAN , VID: N/A , SN: N/A

NAME: "FEX 100 Power Supply 1", DESCR: "Fabric Extender AC power supply"
PID: N5K-PAC-200W , VID: 00V0, SN: PAC12473L17

switch#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show fex	スイッチに接続されている、すべての設定済みファブリック エクステンダ シャーシを表示します。

show locator-led

ファブリック エクステンダ内のロケータ LED のステータスを表示するには、**show locator-led** コマンドを使用します。

show locator-led status

構文の説明	status	ファブリック エクステンダ モジュール内のロケータ LED のステータスを表示します。
-------	---------------	---

コマンド デフォルト なし

コマンド モード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.2(1)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン ファブリック エクステンダのロケータ LED を点灯/消灯するには、**locator-led** コマンドを使用します。

例 次に、ロケータ LED を点灯または消灯に設定したモジュールを表示する例を示します。

```
switch# show locator-led status
Component          Locator LED Status
-----
FEX 100            off
FEX 101            off
FEX 102            off
FEX 103            off
FEX 105            off
switch#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	locator-led	ファブリック エクステンダ シャーシのロケータ LED を点灯します。
	show fex	スイッチに接続されている、すべての設定済みファブリック エクステンダ シャーシを表示します。

show module fex

ファブリック エクステンダのモジュール情報を表示するには、**show module fex** コマンドを使用します。

show module fex [**all** | *chassis_ID*]

構文の説明

<i>chassis_ID</i>	ファブリック エクステンダ シャーシ ID。シャーシ ID の範囲は 100 ~ 199 です。
all	すべてのファブリック エクステンダ モジュールに関する情報を表示します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、ファブリック エクステンダのモジュール情報を表示する例を示します。

```
switch# show module fex all
FEX Mod Ports Card Type Model Status.
-----
100 1 48 Fabric Extender 48x1GE Module N5K-C5110T-BF-1GE present
101 1 48 Fabric Extender 48x1GE + 4x10G Mod N2K-C2248TP-1GE present
102 1 48 Fabric Extender 48x1GE Module N5K-C5110T-BF-1GE present
105 1 32 Fabric Extender 32x10GE + 8x10G Mo N2K-C2232P-10GE present

FEX Mod Sw Hw World-Wide-Name(s) (WWN)
-----
100 1 4.2(1)N1(1) 0.0 --
101 1 4.2(1)N1(1) 0.103 --
102 1 4.2(1)N1(1) 0.2 --
105 1 4.2(1)N1(1) 1.0 --

FEX Mod MAC-Address(es) Serial-Num
-----
100 1 000d.ecb1.1300 to 000d.ecb1.132f JAF1237ABSE
101 1 0022.bdd1.3cc0 to 0022.bdd1.3cef JAF11223333
102 1 000d.ecb1.25c0 to 000d.ecb1.25ef JAF1241BLHQ
105 1 000d.ecca.6f40 to 000d.ecca.6f5f JAF1331AKBM
switch#
```

このコマンドは、特定のファブリック エクステンダのモジュール情報を表示する方法を示します。

```
switch# show module fex 100
FEX Mod Ports Card Type Model Status.
-----
100 1 48 Fabric Extender 48x1GE Module N5K-C5110T-BF-1GE present
```

```
FEX Mod Sw          Hw      World-Wide-Name(s) (WWN)
-----
100 1    4.2(1)N1(1)   0.0    --

FEX Mod  MAC-Address(es)                Serial-Num
-----
100 1    000d.ecb1.1300 to 000d.ecb1.132f  JAF1237ABSE
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show fex	スイッチに接続されている、すべての設定済みファブリック エクステンダ シャーシを表示します。

show provision

プロビジョニングに関する情報を表示するには、**show provision** コマンドを使用します。

show provision failed-config slot-number

構文の説明

failed-config	スロットに適用できなかったコンフィギュレーションを表示します。
slot-number	シャーシのスロット番号。有効な範囲は 2 ~ 199 です。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード
コンフィギュレーション同期モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、スロット 2 に適用できなかった事前プロビジョニング設定を表示する例を示します。

```
switch# show provision failed-config 2
Config has not been applied yet for this slot.

switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
provision	スロット内のモジュールの事前プロビジョニングを行います。
show running-config exclude-provision	事前プロビジョニングされた機能を除く実行コンフィギュレーションを表示します。
slot	モジュールを事前プロビジョニングするためにスロットをイネーブルにします。

show queuing interface

インターフェイスのキューイング情報を表示するには、**show queuing interface** コマンドを使用します。

show queuing interface [ethernet slot-chassis-no/port-slot-no/port-no]

構文の説明	ethernet	(任意) イーサネット インターフェイスまたはファブリック エクステンダ に表示されるキューイング情報を指定します。
	slot-chassis-no	イーサネット インターフェイスのスロット番号、またはファブリック エクステンダのシャーシ ID です。指定できる範囲は 1 ~ 255 です。
	port-slot-no	イーサネット インターフェイスのポート番号、または ファブリック エクステンダのリモート スロット ID です。指定できる範囲は 1 ~ 128 です。
	port-no	ファブリック エクステンダのポート番号です。有効な範囲は 1 ~ 48 です。

コマンドデフォルト すべてのインターフェイスのキューイング情報を表示します。

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例 次に、バッファしきい値、および Cisco NX-OS 4.2(1)N2(1) を実行するスイッチにおける指定したインターフェイスのキュー制限値を含めたキューイング情報を表示する例を示します。

```
switch# show queuing interface eth101/1/1
Ethernet101/1/1 queuing information:
  Input buffer allocation:
  Qos-group: 0 3 4 (shared)
  frh: 3
  drop-type: drop
  cos: 0 2 3 4 6 7
  xon      xoff      buffer-size
  -----+-----+-----
  11520    21760    44800

  Qos-group: 2
  frh: 2
  drop-type: no-drop
  cos: 1 5
  xon      xoff      buffer-size
  -----+-----+-----
  12800    23040    46080

  Queueing:
  queue   qos-group   cos           priority  bandwidth mtu
  -----+-----+-----+-----+-----+-----
  3        0 3 4         0 2 3 4 6    WRR       99       9280
```

show queuing interface

```
2          2          1 5          WRR          1          9280
```

```
Buffer threshold: 163840 bytes
```

```
Queue limit: 327680 bytes
```

```
Queue Statistics:
```

```
queue rx
-----+-----
3      38557
2       0
```

```
Port Statistics:
```

```
tx queue drop
-----
26374
```

```
Priority-flow-control enabled: no
```

```
Flow-control status:
```

```
cos      qos-group  rx pause  tx pause  masked rx pause
-----+-----+-----+-----+-----
0         0        xon      xon      xon
1         2        xon      xon      xon
2         3        xon      xon      xon
3         0        xon      xon      xon
4         3        xon      xon      xon
5         2        xon      xon      xon
6         0        xon      xon      xon
7         n/a     xon      xon      xon
```

```
switch#
```

次に、Cisco NX-OS 5.0(2)N2(1) を実行するスイッチにおける指定したインターフェイスの、バッファしきい値およびキュー制限値などのキューイング情報を表示する例を示します。

```
switch# show queuing interface ethernet 1/4
```

```
Interface Ethernet1/4 TX Queuing
```

```
qos-group sched-type oper-bandwidth
0         WRR          50
1         WRR          50
5         priority    0
```

```
Interface Ethernet1/4 RX Queuing
```

```
qos-group 0:
```

```
q-size: 102400, MTU: 1538
```

```
drop-type: drop, xon: 0, xoff: 640
```

```
Statistics:
```

```
Pkts received over the port          : 1
Ucast pkts sent to the cross-bar     : 0
Mcast pkts sent to the cross-bar     : 1
Ucast pkts received from the cross-bar : 1577841
Pkts sent to the port                : 1577841
Pkts discarded on ingress            : 0
Per-priority-pause status            : Rx (Inactive), Tx (Inactive)
```

```
qos-group 1:
```

```
q-size: 76800, MTU: 2240
```

```
drop-type: no-drop, xon: 128, xoff: 240
```

```
Statistics:
```

```
Pkts received over the port          : 0
Ucast pkts sent to the cross-bar     : 0
Mcast pkts sent to the cross-bar     : 0
Ucast pkts received from the cross-bar : 0
Pkts sent to the port                : 0
Pkts discarded on ingress            : 0
Per-priority-pause status            : Rx (Inactive), Tx (Inactive)
```

```

qos-group 5:
  q-size: 122880, MTU: 1538
  drop-type: drop, xon: 0, xoff: 768
  Statistics:
    Pkts received over the port           : 0
    Ucast pkts sent to the cross-bar      : 0
    Mcast pkts sent to the cross-bar      : 0
    Ucast pkts received from the cross-bar : 0
    Pkts sent to the port                 : 1
    Pkts discarded on ingress             : 0
    Per-priority-pause status             : Rx (Inactive), Tx (Inactive)
switch#

```

表 1 に、この出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 1 show queuing interface フィールドの説明

フィールド	説明
Ethernet ...	イーサネット インターフェイス情報。
qoS-group	スイッチに設定されている QoS グループの情報。
sched-type	スケジュールのタイプ。
WRR	Weighted Round Robin (WRR; 重み付けラウンドロビン)。スケジューリングのキューの重み付け。
Priority	キューのプライオリティ。
q-size	キュー サイズ。
drop-type	キューのドロップタイプ。drop も no-drop も可能。
MTU	キューの Maximum Transmit Unit (MTU)。
Xon	このしきい値で伝送をオンにします。
Xoff	このしきい値で伝送をオフにします。
Buffer threshold	インターフェイスのバッファしきい値。
Queue limit	インターフェイスのキュー制限値。

関連コマンド

コマンド	説明
hardware	ハードウェア バッファしきい値を設定します。
buffer-threshold	
hardware queue-limit	ハードウェア キュー制限を設定します。
show fex	スイッチに接続されている、すべての設定済みファブリック エクステンダ シャーシを表示します。

show running-config exclude-provision

オフラインで事前プロビジョニングされたインターフェイスの設定なしで実行コンフィギュレーションを表示するには、**show running-config exclude-provision** コマンドを使用します。

show running-config exclude-provision

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、オフラインで事前プロビジョニングされたインターフェイスの設定なしで実行コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show running-config exclude-provision

!Command: show running-config exclude-provision
!Time: Mon Sep  6 08:10:16 2010

version 5.0(2)N1(1)
feature fcoe

feature telnet
feature tacacs+
cfs ipv4 distribute
cfs eth distribute
feature udld
feature interface-vlan
feature lacp
feature vpc
feature lldp
feature vtp
feature fex

username admin password 5 $1$wmFN7Wly$/pjqx1DfAkCCAg/KyxbUz/  role network-admin
username install password 5 !  role network-admin
username praveena password 5 !  role network-operator
no password strength-check
ip domain-lookup
ip domain-lookup
tacacs-server host 192.168.131.54 key 7 "wawy1234"
tacacs-server host 192.168.131.37
tacacs-server host 192.168.131.37 test username user1
aaa group server tacacs+ t1
    server 192.168.131.54
```



```

aaa group server tacacs+ tacacs
radius-server host 192.168.128.5 key 7 "KkwyCet" authentication accounting
aaa group server radius r1
    server 192.168.128.5
hostname BEND-2
vlan dot1Q tag native
logging event link-status default
logging event trunk-status default
no service recover-errdisable
errdisable recovery interval 600
no errdisable detect cause link-flap
errdisable recovery cause link-flap
errdisable recovery cause udd
--More--
<--output truncated-->
switch#

```

関連コマンド

コマンド	説明
copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
provision	スロット内のモジュールの事前プロビジョニングを行います。
show provision	事前プロビジョニングされたモジュール情報を表示します。
show startup-config exclude-provision	オフライン インターフェイスの事前プロビジョニング情報なしでスタートアップ コンフィギュレーションを表示します。
slot	事前定義されたモジュールのシャーシ スロットを設定します。

show running-config fex

ファブリック エクステンダ (FEX) の実行コンフィギュレーションを表示するには、**show running-config fex** コマンドを使用します。

show running-config fex [all]

構文の説明	all	(任意) デフォルト設定も含めた FEX 情報を表示します。
コマンドデフォルト	なし	
コマンドモード	EXEC モード	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.2(1)N2(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、バッファしきい値およびキュー制限を含めた、実行 FEX コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show running-config fex

!Command: show running-config fex
!Time: Mon Jul 19 07:56:21 2010

version 4.2(1)N2(1)
feature fex

fex 100
  pinning max-links 1
  description "RedwoodFex100"
fex 101
  pinning max-links 1
  description "FEX0101"
fex 150
  pinning max-links 1
  description "PortolaFex150"
fex 151
  pinning max-links 1
  description "PortolaFex151"
fex 160
  pinning max-links 1
  description "FEX0160"
fex 198
  hardware N2232P queue-limit 50000
  pinning max-links 1
  description "WoodsideFex198"
fex 199
  hardware N2232P queue-limit 20000
  no hardware N2248T queue-limit
  hardware N2148T buffer-threshold 163840
```

```
pinning max-links 1
description "WoodsideFex199"

interface port-channel100
  fex associate 100

interface port-channel150
--More--
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
hardware buffer-threshold	ハードウェア バッファしきい値を設定します。
hardware queue-limit	ハードウェア キュー制限を設定します。
show fex	スイッチに接続されている、すべての設定済みファブリック エクステンダ シャーシを表示します。

show sprom fex

Serial PROM (SPROM; シリアル PROM) に関する情報を表示するには、**show sprom fex** コマンドを使用します。

```
show sprom fex {all | chassis_ID {all | backplane | powersupply module_no}}
```

構文の説明	パラメータ	説明
	<i>chassis_ID</i>	ファブリック エクステンダ シャーシ ID。シャーシ ID の範囲は 100 ~ 199 です。
	all	特定のファブリック エクステンダのすべての SPROM の内容を表示します。
	backplane	特定のファブリック エクステンダのバックプレーン SPROM の内容を表示します。
	powersupply	特定のファブリック エクステンダの電源 SPROM の内容を表示します。
	<i>module_no</i>	特定のファブリック エクステンダの電源モジュールの番号。指定できる範囲は 1 ~ 2 です。

コマンド デフォルト なし

コマンド モード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.2(1)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例 次に、特定のファブリック エクステンダのすべての SPROM の内容を表示する例を示します。

```
switch# show sprom fex 100 all
DISPLAY FEX 100 SUP sprom contents
Common block:
Block Signature : 0xabab
Block Version   : 3
Block Length    : 160
Block Checksum  : 0x18c9
EEPROM Size     : 65535
Block Count     : 3
FRU Major Type  : 0x6003
FRU Minor Type  : 0x0
OEM String      : Cisco Systems, Inc.
Product Number  : N5K-C5110T-BF-1GE
Serial Number   : JAF1237ABSE
Part Number     : 73-12009-02
Part Revision   : 00
Mfg Deviation   : 0
H/W Version    : 0.0
Mfg Bits       : 0
Engineer Use    : 0
snmpOID        : 9.12.3.1.9.72.5.0
Power Consump  : -200
```

```
RMA Code          : 0-0-0-0
CLEI Code         : 000000000000
VID              : V00
Supervisor Module specific block:
Block Signature   : 0x6002
Block Version     : 2
Block Length      : 103
Block Checksum    : 0x2648
Feature Bits      : 0x0
HW Changes Bits   : 0x2
Card Index        : 11011
MAC Addresses     : 00-00-00-00-00-00
Number of MACs    : 0
Number of EPLD    : 0
Port Type-Num     : 2-52
Sensor #1         : 85,75
Sensor #2         : 100,90
Sensor #3         : 100,90
Sensor #4         : 100,90
Sensor #5         : 100,90
Sensor #6         : 100,90
Sensor #7         : 100,90
Sensor #8         : 100,90
Max Connector Power: 1000
Cooling Requirement: 300
Ambient Temperature: 40

DISPLAY FEX 100 backplane sptom contents:
Common block:
Block Signature   : 0xabab
Block Version     : 3
Block Length      : 160
Block Checksum    : 0x195d
EEPROM Size       : 65535
Block Count       : 5
FRU Major Type    : 0x6001
FRU Minor Type    : 0x0
OEM String        : Cisco Systems, Inc.
Product Number    : N5K-C5110T-BF-1GE
Serial Number     : JAF1237ABSE
Part Number       : 73-12009-02
Part Revision     : 00
Mfg Deviation     : 0
H/W Version       : 0.0
Mfg Bits          : 0
Engineer Use      : 0
snmpOID           : 9.12.3.1.3.719.0.0
Power Consump     : -800
RMA Code          : 0-0-0-0
CLEI Code         : 00000000
VID              : V01
Chassis specific block:
Block Signature   : 0x6001
Block Version     : 3
Block Length      : 39
Block Checksum    : 0x28a
Feature Bits      : 0x0
HW Changes Bits   : 0x2
Stackmib OID      : 0
MAC Addresses     : 00-0d-ec-b1-13-00
Number of MACs    : 64
OEM Enterprise    : 0
OEM MIB Offset    : 0
MAX Connector Power: 0
```



```
RMA Code      : 0-0-0-0
switch#
```

このコマンドは、特定のファブリック エクステンダの電源 SPROM の内容を表示する方法を示します。

```
switch# show sprom fex 100 powersupply 1
DISPLAY FEX 100 power-supply 1 sprom contents:
Common block:
Block Signature : 0xabab
Block Version   : 3
Block Length    : 124
Block Checksum  : 0x15fc
EEPROM Size     : 124
Block Count     : 1
FRU Major Type  : 0xab01
FRU Minor Type  : 0x1
OEM String      : Cisco Systems, Inc.
Product Number  : N5K-PAC-200W
Serial Number   : PAC12473L17
Part Number     : 341-0335-01
Part Revision   : 01
CLEI Code       : COUPADSBAA
VID             : 00V0
snmpOID         : 0.0.0.0.0.0.0.0
H/W Version     : 0.1
Current         : 1667
RMA Code        : 0-0-0-0
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show fex	スイッチに接続されている、すべての設定済みファブリック エクステンダ シャーシを表示します。

show startup-config exclude-provision

オフラインで事前プロビジョニングされたインターフェイスの設定を除くスタートアップ コンフィギュレーションを表示するには、**show startup-config exclude-provision** コマンドを使用します。

show startup-config exclude-provision

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、オフラインで事前プロビジョニングを行ったインターフェイスを設定しないスタートアップ コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show startup-config exclude-provision
```

関連コマンド

コマンド	説明
provision	スロット内のモジュールの事前プロビジョニングを行います。
show provision	事前プロビジョニングされたモジュール情報を表示します。
show running-config exclude-provision	事前プロビジョニングされた機能を除く実行コンフィギュレーションを表示します。
slot	事前定義されたモジュールのシャーシ スロットを設定します。

show system reset-reason fex

ファブリック エクステンダを最後にリセットした際の理由を表示するには、**show system reset-reason fex** コマンドを使用します。

show system reset-reason fex chassis_ID

構文の説明	<i>chassis_ID</i>	ファブリック エクステンダ シャーシ ID。シャーシ ID の範囲は 100 ~ 199 です。
-------	-------------------	--

コマンド デフォルト なし

コマンド モード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.2(1)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例 次に、特定のファブリック エクステンダを最後にリセットした際の理由を表示する例を示します。

```
switch# show system reset-reason fex 100
----- reset reason for FEX 100 ---

1) At 430815 usecs after Fri Apr 16 04:27:04 2010
   Reset Reason: Reset Requested by CLI command reload (9)
   Service (Additional Info): Reload requested by supervisor
   Image Version: 4.2(1)N1(1)

2) At 505550 usecs after Fri Apr 16 03:39:50 2010
   Reset Reason: Reset due to upgrade (88)
   Service (Additional Info): Reset due to upgrade
   Image Version: 4.2(1u)N1(1u)

3) At 607267 usecs after Fri Apr 16 02:50:10 2010
   Reset Reason: Reset due to upgrade (88)
   Service (Additional Info): Reset due to upgrade
   Image Version: 4.2(1)N1(1)

4) At 857790 usecs after Fri Apr 16 02:00:22 2010
   Reset Reason: Reset due to upgrade (88)
   Service (Additional Info): Reset due to upgrade
   Image Version: 4.2(1u)N1(1u)

switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show fex	スイッチに接続されている、すべての設定済みファブリック エクステンダ シャーシを表示します。

show version fex

ファブリック エクステンダに関するソフトウェア バージョン情報を表示するには、**show version fex** コマンドを使用します。

show version fex chassis_ID

構文の説明	<i>chassis_ID</i>	ファブリック エクステンダ シャーシ ID。シャーシ ID の範囲は 100 ~ 199 です。
-------	-------------------	--

コマンド デフォルト	なし
------------	----

コマンド モード	EXEC モード
----------	----------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.2(1)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例 次に、ファブリック エクステンダのソフトウェア バージョンを表示する例を示します。

```
switch# show version fex 100
Software
  Bootloader version:          1.12
  System boot mode:           primary
  System image version:       4.2(1)N2(1) [build 4.2(1)N2(1)]

Hardware
  Module:                      Fabric Extender 48x1GE Module
  CPU:                          Motorola, e300c1
  Serial number:                JAF1302ABDP
  Bootflash:                    locked

Kernel uptime is 0 day(s), 9 hour(s), 9 minutes(s), 16 second(s)

Last reset at Fri Jul 02 04:27:04 2010
  Reason: Reset Requested by CLI command reload
  Service: Reload requested by supervisor
switch#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show fex	スイッチに接続されている、すべての設定済みファブリック エクステンダ シャーシを表示します。

■ show version fex



T コマンド

この章では、Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチから Cisco Nexus 2000 シリーズ ファブリック エクステンダを管理するために使用する、T で始まる Cisco NX-OS コマンドについて説明します。

type

ファブリック エクステンダ カード タイプを特定のカードに設定するには、**type** コマンドを使用します。デフォルトの FEX カードに戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

type *fex_card_type*

no type

構文の説明

<i>fex_card_type</i>	<p>ファブリック エクステンダのカード タイプ。次のファブリック エクステンダ カード タイプがサポートされています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • N2148T : ファブリック エクステンダ 48x1G 4x10G SFP+ モジュール • N2224TP : ファブリック エクステンダ 24x1G 2x10G SFP+ モジュール • N2232P : ファブリック エクステンダ 32x10G SFP+ 8x10G SFP+ モジュール • N2232TM : ファブリック エクステンダ 32x10GBase-T 8x10G SFP+ モジュール • N2248T : ファブリック エクステンダ 48x1G 4x10G SFP+ モジュール
----------------------	--

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

ファブリック エクステンダ コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

Cisco NX-OS Release 4.2(1)N2(1) で動作している Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチでは、次の Cisco Nexus 2000 シリーズ ファブリック エクステンダがサポートされています。

- Cisco Nexus 2148T ファブリック エクステンダ : 親の Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチへのアップリンク接続用に、4 個の 10 ギガビット イーサネット ファブリック インターフェイスを備え、サーバまたはホストへのダウンリンク接続用に、48 個の 1000BASE-T (1 ギガビット) イーサネット ホスト インターフェイスを備えています。
- Cisco Nexus N2224TP ファブリック エクステンダ : 親の Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチへのアップリンク接続用に、Small Form-Factor Pluggable (SFP+) インターフェイス アダプタ付きの 2 個の 10 ギガビット イーサネット ファブリック インターフェイスを備え、サーバまたはホストへのダウンリンク接続用に、24 個の 1000BASE-T (1 ギガビット) イーサネット ホスト インターフェイスを備えています。また、Fibre Channel over Ethernet (FCoE) は、サポートしません。

- Cisco Nexus 2232P ファブリック エクステンダ：親の Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチへのアップリンク接続用に、Small Form-Factor Pluggable (SFP+) インターフェイス アダプタ付きの 8 個の 10 ギガビット イーサネット ファブリック インターフェイスを備え、サーバまたはホストへのダウンリンク接続用に、SFP+ インターフェイス アダプタ付きの 32 個の 10 ギガビット イーサネット ファブリック インターフェイスを備えています。
- Cisco Nexus 2248T ファブリック エクステンダ：親の Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチへのアップリンク接続用に、SFP+ インターフェイス アダプタ付きの 4 個の 10 ギガビット イーサネット ファブリック インターフェイスを備え、サーバまたはホストへのダウンリンク接続用に、48 個の 1000BASE-T (1 ギガビット) イーサネット ホスト インターフェイスを備えています。

Cisco NX-OS Release 5.0(3)N2(1) を実行する Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチでは、次の Cisco Nexus 2000 シリーズ ファブリック エクステンダがサポートされています。

- Cisco Nexus 2148T ファブリック エクステンダ：親の Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチへのアップリンク接続用に、4 個の 10 ギガビット イーサネット ファブリック インターフェイスを備え、サーバまたはホストへのダウンリンク接続用に、48 個の 1000BASE-T (1 ギガビット) イーサネット ホスト インターフェイスを備えています。
- Cisco Nexus N2224TP ファブリック エクステンダ：親の Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチへのアップリンク接続用に、Small Form-Factor Pluggable (SFP+) インターフェイス アダプタ付きの 2 個の 10 ギガビット イーサネット ファブリック インターフェイスを備え、サーバまたはホストへのダウンリンク接続用に、24 個の 1000BASE-T (1 ギガビット) イーサネット ホスト インターフェイスを備えています。また、Fibre Channel over Ethernet (FCoE) は、サポートしません。
- Cisco Nexus 2232P ファブリック エクステンダ：親の Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチへのアップリンク接続用に、Small Form-Factor Pluggable (SFP+) インターフェイス アダプタ付きの 8 個の 10 ギガビット イーサネット ファブリック インターフェイスを備え、サーバまたはホストへのダウンリンク接続用に、SFP+ インターフェイス アダプタ付きの 32 個の 10 ギガビット イーサネット ファブリック インターフェイスを備えています。
- Cisco Nexus 2232TM ファブリック エクステンダ：親の Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチへのアップリンク接続用に小型フォーム ファクタ (SFP+) インターフェイス アダプタ付きの 8 個の 10 ギガビット イーサネット ファブリック インターフェイスを備え、サーバまたはホストへのダウンリンク接続用に 32 個の 10 ギガビット BASE-T イーサネット ファブリック インターフェイスを備えています。
- Cisco Nexus 2248T ファブリック エクステンダ：親の Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチへのアップリンク接続用に、SFP+ インターフェイス アダプタ付きの 4 個の 10 ギガビット イーサネット ファブリック インターフェイスを備え、サーバまたはホストへのダウンリンク接続用に、48 個の 1000BASE-T (1 ギガビット) イーサネット ホスト インターフェイスを備えています。

例

次に、ファブリック エクステンダ カードを設定する例を示します。

```
switch(config)# fex 100
switch(config-fex)# type N2148T
switch(config-fex)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fex	ファブリック エクステンダを作成し、ファブリック エクステンダ コンフィギュレーション モードを開始します。
show fex	スイッチに接続されている、すべての設定済みファブリック エクステンダ シャーシを表示します。

■ type